

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成25年6月1日(土)

午後1時～4時

神戸市勤労会館(大ホール)

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

〒650-8691

兵庫県神戸市中央区相生町2-2-8 新神戸ビル東館2階

FAX: 078-371-0277

TEL: 078-371-5613

メール: info@hyogodeaf.com

【平成24年度総括報告】

平成20年度より公益法人改革の流れに沿って当協会も公益社団法人への移行を進めてきました。この度、県の認可を得て平成24年4月1日より「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として新たに出発をする運びとなりました。

併せて昭和48年に「兵庫県ろうあ連盟」として結成して以来、「一人ぼっちなろうあ者をなくそう」を合言葉に役員と会員が結束しながら組織強化に取り組んできましたが、この度、平成25年1月15日で40周年を迎えることができました。

これまで当協会を支えてくださった、会員の皆さまをはじめ、歴代の役員の方々に心から感謝を申し上げます。今後も兵庫県内の聴覚障害者を代表する団体としてさらに協会の運動と事業を発展させていきましょう。

当協会の活動や事業に関しては、昨年度は公益社団法人として総会を実施し、新役員体制の元、協会の活動や事業に取り組みました。県ろうあ者大会や県ろうあ者新年大会をはじめ各種行事を実施してきました。

また、兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関しても職員をはじめ関係機関と連携し、聴覚障害者の事業所として運営してきました。

当協会として県内の聴覚障害者が安心して暮らせるために兵庫県をはじめ関係機関にさまざまな要望や提言を行ってきました。

一般財団法人全日本ろうあ連盟が取り組んでいる「情報・コミュニケーション法」(仮称)や「手話言語法」(仮称)の制定をめざして県や県議会などにパンフの普及や啓蒙に取り組んできました。引き続き取り組んでいくとともに、25年4月から始まる障害者総合支援法をはじめ兵庫県障害者福祉計画を踏まえた事業展開ができるよう聴覚障害者の生活実態調査を行っていきます。

今後もさらなる聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、兵庫すべての県民に聴覚障害関連を始め、福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続き支援ご協力をお願いいたします。

【公益目的事業】

《公－１ 聴覚障害者の福祉向上のための事業》

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

(１) 手話通訳者等講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。１．手話奉仕員養成事業講師講習会

開催期間：昼の部 平成 24 年 8 月 1 7 日（金）～ 1 0 月 2 6 日（金）全 1 0 回

夜の部 平成 25 年 1 月 1 9 日（土）～ 3 月 2 3 日（土）全 1 0 回

開催場所：昼の部 神戸市立総合福祉センター

夜の部 姫路市自治福祉会館

受講人数：昼の部 6 名（ろう者 3 名、聴者 3 名） 【修了者 6 名】

夜の部 1 6 名（ろう者 5 名、聴者 1 1 名） 【修了者 1 4 名】

２．手話通訳者養成事業講師講習会

開催期間：平成 24 年 9 月 5 日（水）～ 1 1 月 7 日（水）全 1 0 回

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：9 名（ろう者 5 名、聴者 4 名） 【修了者 6 名】

３．講義手話奉仕員養成事業・手話通訳者養成事業講師講習会（講義編）

開催期間：第 1 回 平成 24 年 1 1 月 2 5 日（日）

第 2 回 平成 24 年 1 2 月 8 日（土）

第 3 回 平成 25 年 1 月 2 0 日（日）

開催場所：神戸市立総合福祉センター、あすてっぷ K O B E

受講人数：1 8 名（ろう者 8 名、聴者 1 0 名）

(２) 手話学習会（地域学習会）

開催場所以外のろうあ者をお招きした講演会をとおして、地方手話などの学習、情報交換の場として設ける。

１．手話対策部学習会

開催日：平成 25 年 3 月 2 日（土）14:00～16:00

開催場所：神戸市立総合福祉センター

講師：岩本重雄氏（全国手話研修センター）

テーマ「これはどんな試験？わたしたちとのつながりは？」

参加人数：51名（ろう者33名、聴者18名）

2. 手話学習会①

開催日：平成25年3月17日（日）14:00～16:00

開催場所：あすてっぷKOBÉ

講師：高塚稔氏（日本手話研修所標準手話確定普及研究部 近畿班 班長）

テーマ「手話研究のあれこれ」

参加人数：45名（ろう者28名、聴者17名）

3. 手話学習会②

開催日：平成25年3月22日（金）19:00～21:00

開催場所：コミュニティセンターおの

講師：若生茂嗣氏（西宮）

テーマ「ろう者と歴史 ～人物・手話・教育など～」

参加人数：34名（ろう者7名、聴者27名）

4. 楽しもう！フィリピン&日本料理！！+手話学習会③

開催日：平成25年3月26日（火）

料理&食事会 15:30～19:30、手話学習会 19:30～21:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

講師：レイモンド・マンディング氏

（第14期ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業 研修生）

テーマ「フィリピンについて」

参加人数：料理&食事会 24名（ろう者16名、聴者8名）

手話学習会 32名（ろう者23名、聴者9名）

（3）講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

講義内容：聴覚障害者福祉制度、聴覚障害者について、手話の基礎知識

聴覚障害者の権利、ろう運動、手話サークルについて

ソーシャルワーク概論、身体障害者福祉概論、手話通訳の理念と仕事

手話通訳者の健康管理、一人ひとりがかがやく 等

派遣内容&回数：

内 容	件 数	人 数
小学校、高校、大学・短大、専門学校	17	32
聴覚特別支援学校	1	1
奉仕員養成講座	3	6
奉仕員養成講座(講義)	12	26
通訳者養成講座	8	19
通訳者養成講座(講義)	8	19
試験対策講座	2	4
地域手話通訳者登録試験(審査員)	3	5
登録手話通訳者研修会	7	12
登録手話講師研修会	1	1
講演・シンポジウム	32	33
手話学習会	3	7
合 計	97	165

講 師：当協会理事、認定手話通訳者、当協会登録講師

※平成24年度 講師派遣人数：49名

講師研修会：

開催日：平成25年1月19日(土) 14:00～17:00

開催場所：神戸市立総合福祉センター

内 容：講義「手話指導 スキルアップ！！」

講師 坂井田 美代子氏(全国手話研修センター講師、テキスト編集委員)

参加人数：53名(ろう者40名、聴者13名)

(4) 手話通訳者認定事業

実施日：平成25年2月23日(土)

会 場：神戸市立総合福祉センター

内 容：筆記、読み取り、口頭試問

受験者：8名(神戸5、姫路1、川西1、丹波1)

合格者：1名

(5) 手話通訳者派遣事業

1. 平成24年度認定手話通訳者の派遣状況報告

	派遣実績	
	件数	人数
医 療	0	0
権 利 ・ 義 務	1	1
福 祉	0	0
労 働	2 0 6	3 8 1
住 居	4	1 0
教 育 ・ 育 児	6 8	1 5 2
生 活	6 2	1 1 8
生 涯 教 育	1 0 4	2 4 2
社 会 活 動	1 0 9	2 2 8
合 計	5 5 4	1, 1 3 2

2. 認定手話通訳者研修会の実施

第1回研修会

日 時 平成24年6月3日（日）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 19名
内 容 平成23年度 兵聴協派遣事業報告・反省
平成24年度兵聴協方針・事業計画について

第2回研修会

日 時 平成24年8月4日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 4名
内 容 「事例検討～私ならこうする！？」

第3回研修会

日 時 平成24年9月16日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 5名
内 容 「模擬通訳演習」
講 師 池上 睦（手話通訳士）

第4回研修会

日 時 平成24年12月22日（土）

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
 出席者 16名
 内 容 「聞こえない人の暮らしを見つめて」
 講 師 北野 雅子氏（石川県聴覚障害者センター施設長）

第5回研修会

日 時 平成24年3月9日（土）
 場 所 兵庫県民会館
 出席者 3名
 内 容 手話通訳者&要約筆記者合同研修「互いの仕事について」
 グループワーク
 講 師 手話通訳者：池上 睦氏 要約筆記者：佐伯祝子氏

（6）ろうあ兵庫

2012年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてはトップページに掲載しました。専門部記事については定期的に情報を掲載することができました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、ろうあ運動関係を重点に掲載してまいりたいと思います。

2012 年度	主な内容	ページ数
4月号	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会としてスタート	24
5月号	青年講座が開かれました！ 等	18
6月号	「私たち抜きで私たちのことをきめないで！ 骨格提言を尊重した総合福祉法の制定を！」等	24
7月号	第60回全国ろうあ者大会 in 京都 新たな次代に伝えよう！千年の都 等	22
8月号	第30回兵庫県ろうあ者大会、小野で開催 等	22
9月号	兵庫県庁に要望書の提出・第16回ろう教育学習会・全青研等	22
10月号	第33回兵女性つどい、ひょうご聴障ネット夏の学習会 等	18
11月号	第35回三団体2DAY研修会 第15回ろうあ教育フォーラム 等	22
12月号	第7回ふくろう・ふれ愛まつり県下各地から1000人集まり 等	22
1月号	新年挨拶、各協会祝賀広告、メガバブルショー 等	22
2月号	第39回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（加古川市）等	22
3月号	手話で Go!パンフレットを持って私たちの手話を知ってもらおう！ 等	24

(7) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業

- ・福祉対策部「鉄道バリアフリー検討推進委員会の取り組みについて」
 - ・アンケート調査結果の報告書は、昨年度に考察作業、会社や行政向け提言レポート報告を実施し、作成していますが、24年度中に発行する事は出来ませんでした。25年度には発行できるように努めたいと思います。
- ・聴覚障害者用情報受信装置（地上デジタル放送非対応機種：アイドラゴンⅠ及びⅡ・Ⅱa）所有状況の実態把握を行い、返答期限までに調査回答を集計することができません。

労働対策部

地域の就労相談支援を地域で、どのように活用しているのか？又、手話協力員の職務内容を知らない人が多い事がわかった。兵庫県労働局の協力を得ながら、手話協力員・就職支援ナビゲーターに対してのアンケート職務調査を実施してまいります。

手話対策部

兵庫県立聴覚障害者情報センターをとおして、各市町に「手話奉仕員、通訳者養成講座開講状況」のアンケート調査を行いました。集計した結果、厚生労働省のカリキュラムに基づいて開講できている市町が少ないことが分かりました。平成25年4月より「障害者総合支援法」により、手話奉仕員養成事業は区市町村の必須事業になりました。25年度も引き続き調査をするとともに、講座開講できるよう働きかけていきたい。

(8) ろうあ相談員など研修事業（生活問題対策事業）

生活問題対策部会①

日 時：平成24年5月19日（土）午後1時半～4時半

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター交流サロン室

出席者：15名

報告内容：①各地域の情報交換、福祉対策部より連絡

②相談員と各市（区）役所・町役場通訳者との連携について

・各地域の相談員等名簿、各地域からの取組み状況報告

③相談員研修

・「相談に来られた方への対応」

相談面接技術（信頼関係の形式、情報収集、問題解決）における
ロールプレイ等について説明

④福祉機器を活用した支援について

生活問題対策委員会②

日 時：平成24年8月25日（土）午後1時半～4時半

場 所：神戸市立灘区民ホール 2 階

(兵庫県立聴覚障害者情報センター研修会議室)

出席者：16 名

報告内容：①各地域の情報交換、福祉対策部より連絡

②相談員研修（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

・「相談に来られた方への対応」

相談面接技術（信頼関係の形式、情報収集、問題解決）における
ロールプレイ等について演習・評価のポイント

生活問題対策委員会③

日 時：平成 24 年 11 月 10 日（土）午後 1 時半～4 時半

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

出席者：15 名

報告内容：①各地域の情報交換、福祉対策部より連絡

②相談員研修（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

・より良い聞こえとコミュニケーションのために（福祉機器用具等の
パンフ）

・相談活動をする上で覚えておきたい制度（法律面について）

・障害者虐待防止法の施行について

③その他

生活問題対策委員会④

日 時：平成 25 年 2 月 9 日（土）午後 1 時半～4 時半

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター交流サロン室

出席者：15 名

報告内容：①各地域の情報交換、福祉対策部より連絡

②障害者総合支援法について説明（手話通訳に関する件）

③各相談員からのケースについての問題点、対応方法などについての
悩み事等（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

④平成 25 年度の相談員研修計画について、その他

（9）聴覚障害者関連施設部会

県内の聴覚障害者関連施設、事業所関係者が集い、情報交換及び意見交換を行うと共に、障害者自立支援法をはじめ各種事業を展開するための情報収集、討議等を行う。

「骨格提言を尊重した障害者総合福祉法の制度を！」兵庫集会の開催

日 時 平成 24 年 5 月 10 日（木）13 時～15 時 30 分

場 所 神戸東遊園地広場

参 加 160名

聴覚障害者関連施設部会職員研修①

日 時 平成24年9月10日（木）13時～15時30分

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

参 加 16名

報告内容：①各地域施設の紹介と状況

②研修会 「ろう重複障害者の支援について」

③その他

聴覚障害者関連施設部会職員研修②

日 時 平成25年3月16日（木）13時30分～15時30分

場 所 神戸市立総合福祉センター 会議室

参 加 30名

報告内容：①講演テーマ『聴覚障害者の虐待防止について』

講師：中島 正二 氏（介護支援専門員）

②各事業所で虐待に関する報告、対応の中でこれは虐待なのか？

判断できにくいケースや、虐待が起こった時に対応した事がある等

（10）豊岡市手話通訳者等養成・派遣事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および派遣事業を受託して実施する。

1. 豊岡市手話通訳者養成事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者を志す者に対し、必要な手話通訳者の知識や通訳技術の習得を図り、手話通訳者を養成及び豊岡市登録通訳者を対象としたスキルアップ等の研修会を開催した。

【委託元】豊岡市

【日時・件数】11月3日（土）～2月16日（土）・全20回

【場所】豊岡健康福祉センター

【参加人数】5名

2. 豊岡市手話奉仕員養成事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話で日常会話を行うに必要な手話語彙および手話表現技術の習得を図り、聴覚障害、聴覚障害者の生活や関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるため養成講座を開催した。

【委託元】豊岡市

【日時・件数】 8月3日（金）～10月5日（金）・全10回

【場所】 たじま聴覚障害者センター

【参加人数】 10名

3. 豊岡市要約筆記者派遣事業

聴覚障害者等に対し、要約筆記者を派遣する事で社会参加を促進する。派遣申請があった場合、その内容を審査し適正と認めた場合は要約筆記者を派遣する。

【委託元】 豊岡市

【件数】 13件

(11) たじま聴覚障害者センター（就労継続支援B型事業）

障害者自立支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する聴覚障害者のうち、主に高齢者と重複障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と下請作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施している。

【日時】 月曜日～金曜日 9時～16時

【場所】 兵庫県豊岡市京町12-73 たじま聴覚障害者センター内

【定員】 20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
開所日数	20	21	22	21	21	20	23	21	19	20	19	21
利用人数 (延べ)	285	309	322	312	303	300	311	286	276	307	302	337
利用率 (%)	65	67	73	68	66	68	68	65	60	67	76	73

【作業内容】 請負作業 …ポリちぎり（歯磨きチューブ・醤油さし）作業・自動車部品のゴムバリちぎり、モチーフ色付け
自主作業 …アルミ缶回収・自主製品製作、販売（ふくろう人形他）
施設外就労…豊岡市福祉事務所内清掃業務

(12) はりまふくろうの家（就労継続支援B型事業）

障害者自立支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴

覚障害者のうち、引きこもりや、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行うとともに、一般就労等へ移行に向けて支援を実施する。

【日時】月曜日～金曜日 8：30～16：00

【場所】姫路市東延末 2-5 1 中川ビル 1 F 事業所内・外

【定員】18 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	20	18	19	20
利用人数 (延べ)	165	163	161	157	152	138	171	159	127	113	127	144
利用率 (%)	42	39	41	38	37	35	41	40	31	27	35	35

【作業内容】

- ・請負作業は、箸入れ・ひめかりまんじゅうが定期的にある。季節請負としてはダイレクトメール・素麺の箱折りがある。素麺の箱折りは昨年度、姫路作業所連絡会を通して紹介があり作業が丁寧ということで個別契約となり、25年度も受注が始まっている。
- ・自主作業は おにぎり・お弁当で、月曜日と金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビーで姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハートフルショップで販売しており70食程がほぼ完売している。おにぎりやお弁当の注文も受けており、地域の子供会・老人会・全国聴覚障害者公務員研修会での注文も受けた。
- ・施設外就労は実施していない。平成25年度は、可能な限り取り組みに向けて努力していきたい。

【工賃アップの取り組み】

更に、おにぎり・お弁当の販路の開拓や請負等の受注に努力をしたい。

【その他】

- ・保健衛生面の充実を図りたい。
- ・前職員が退職して、新規にパート職員を2名採用した。体制上、目標工賃達成指導員の配置が可能となった為、工賃アップに繋げたい。

《公－２ 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業》

（１）手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持って、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に、養成講座を実施しました。

内容	実施期間	回数	受講人数(内修了者)	開催地
基本課程	8月29日(水)～1月16日(水)	20	12名(12名)	福崎町
応用課程	7月9日(月)～12月17日(月)	20	8名(8名)	たつの市
実践課程	9月15日(土)～11月24日(土)	10	17名(17名)	西宮市

（２）要約筆記者養成事業

要約筆記者の養成及び指導者養成を実施しました。

事業名	実施期間	回数	受講者(内修了者)	会場
要約筆記者	奉仕員から要約筆記者への移行のための補習研修 8/18～19、9/1、9/8、10/6、10/27	6	申込72名	情報センター
	パソコン要約筆記者養成講座(前期) 11/10～3/2	17	申込11名	情報センター
※要約筆記者養成カリキュラム関係	全国指導者養成研修 6/22～24、7/20～22 9/14～16	9日間	5人	大阪市・京都市
	2012年度全国統一要約筆記者認定試験 2/24	1	受験 47名 (手書き34、PC5、両方8)	神戸市立総合福祉センター

（３）盲ろう者向け通訳・介助員養成事業

内容	実施期間	回数	受講者(内修了者)	会場
養成講座	5月19日(土)～6月30日(土) 9月1日(土)～9月29日(土)	20	25名(16名)	小野市

・兵庫県盲ろう者向け通訳・介助員研修会

日 時	研修内容	受講人数	場 所
4 月 7 日 (日) 13 : 30～14 : 00	・「盲ろう事業、公益社団法人について」 ・事務連絡「新報告書について」	111 名	情報センター
14 : 00～16 : 00	・講演「盲ろう者福祉」 講師 兵庫盲ろう者友の会		
6 月 17 日 (日) 13 : 00～16 : 00	・事例検討 講師 兵庫盲ろう者友の会	17 名	豊岡市民プラザ
7 月 28 日 (日) 10 : 00～15 : 30	・事例検討 ・模擬通訳・介助 講師 兵庫盲ろう者友の会	74 名	神戸市立総合福祉センター
10 月 20 日 (土) 13 : 00～15 : 30	・ロールプレイ 講師 兵庫盲ろう者友の会	47 名	加古川市立総合福祉会館
12 月 1 日 (土) 10 : 30～15 : 00	・外出訓練 ・グループディスカッション 講師 兵庫盲ろう者友の会	31 名	洲本市健康福祉館
2 月 2 日 (土) 13 : 30～16 : 00	・事例検討 講師 兵庫盲ろう者友の会	53 名	情報センター

(4) 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入りビデオテープ及び自主制作ビデオの貸出しを行いました。

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	6	3	3	11	10	4	2	9	2	6	10	3	69
本数	14	7	9	20	23	8	4	14	6	12	26	6	149

字幕入りビデオテープ及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

利用区分の開始に伴い、映像作品を分類別配置に整理をした。

(5) ろうあ者難聴者相談事業〔ろうあ者ホットライン〕

障害者 110 番の事業に基づき、ろうあ者相談員が、生活に関わるあらゆる相談に対応しました

ろうあ者悩みの相談室・・・ろうあ者相談員 甲斐 （水・金 10：00～18：00）

移動相談・・・・・・・相談員 甲斐（月1回 金曜）、（但馬地域 相談員 小林）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ろうあ相談	27	30	28	24	25	28	26	27	10	6	22	13	266
移動相談	朝来市	多可町	宍粟市	養父市	丹波市	神河町	西脇市	香美町	佐用町	加東市	播磨町	猪名川町	26
	2	8	1	0	2	3	3	0	4	1	1	1	
合計	29	38	29	24	27	31	29	27	10	7	23	14	292

〔相談内容〕

- 制度の相談：（年金、遺産相続、など）
- 家庭・生活の相談：（生活保護、宗教、親の借金、福祉機器など）
- 就労の相談：（求職活動、職場内の人間関係 など）
- 関係機関との助言指導及び情報共有

〔評価・課題〕

- 継続支援のケースが増加。
- 地域の受け皿が担いきれなずに廻ってくるケースの増加。→啓発事業の強化が必要
- アウトリーチ（訪問など）の必要性
→ 平成25年度から移動相談の形式を変更。

たつの市、篠山市、加古川市 この3か所廻り、年3回の相談場を設け、
内1回は支援者対象とした理解セミナーを開講予定。

〔その他〕

- 生活問題対策委員会（兵聴協福祉対策部主催：情報交換+研修）

（6）IT機器活用研修事業

1. パソコン相談の実施

聴覚障害者及び盲ろう者向けにパソコン相談を開催した。

①パソコン相談（平日）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	適宜
相談受付者	職員
相談件数計	21件

②パソコン相談（土曜）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	隔月1回 第3土曜日（午後1時～5時 予約制）を基本 5月19日、7月28日、9月17日、11月17日、12月1日、1月19日、 3月9日
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置
相談件数計	17件

③但馬地域パソコン相談

相談場所	たじま聴覚障害者センター
相談日時	隔月1回 第2土曜日、第4土曜日のいずれか（13:00～17:00 予約制） 5月26日、6月16日、9月8日、10月27日、12月1日
相談受付者	聴覚障害者担当相談員
相談件数計	10件

④盲ろう者向けパソコン相談

相談場所	盲ろう者自宅（訪問型相談）
相談日時	盲ろう者からの要請を受け日程相談
相談受付者	盲ろう者担当PC相談員
相談件数計	13件

⑤イベント型パソコン・スマートフォン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）

協力企業：NTTドコモ、ソフトバンク社

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	10月13日（土）13:00～17:00
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）
相談件数計	40件

2. 聴覚障害者向けパソコン講習会の実施

●春季講座

テーマ：「はじめてでも大丈夫 パソコン入門」

日時：5月7日（月）、14日（月）、21日（月）9:45～12:15（計7.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：4名

テーマ「ワード2010を使ってみよう！」

日時：6月4日（月）、11日（月）、18日（月）、25日（月）9:45～12:15（計7.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：6名

●秋季講座

テーマ「エクセル2010入門講座」

日時：9月1日（土）、8日（土）、15日（土）13:30～16:30（計9時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：5名

●冬季講座

テーマ「年賀状を作ろう」

日時：12月3日（月）、10日（月）、17日（月）9:30～12:00（計7.5時間）

12月17日（月）13:00～15:00 補講

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室
参加人数：3名（ろう者2名、難聴者1名）

3. 聴覚障害者向けIT学校の開催

●テーマ「知ってる？インターネット・PC用語あれこれ」

日時：6月16日（土）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：12名

●テーマ「情報センター・IT学校」

内容1「インターネットの注意点」

内容2「SNSについて」

日時：2013年2月2日（土）10:30～15:45

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：13名

●テーマ「情報センター・IT学校 第2講座」

内容「OSって何？」

日時：2013年3月9日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：7名

4. 聴覚障害者向け携帯活用講座の開催

テーマ「スマートフォン・タブレットを使いこなそう！」

日時：10月7日（土）14:00～16:30（計2.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：21名

（7）聴覚障害者向けビデオの自主制作

1. 聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸し出しや関係

機関、団体への配布等を行った。

（全15タイトル）

No.	ビデオタイトル	時間 (分)	本数
1	聴覚障害者向け情報発信ビデオ センターニュースNo.1	30分	10本
2	聴覚障害者向け警察ビデオシリーズ2（兵庫県警察合同制作） 「運転免許の取得について ～道路交通法 平成24年4月改正ポイント～」	20分	50本
3	2011年度「ひょうご聴障ネット」総会 講演会「聴覚障害者と差別禁止法」～安心して暮らせる未来を求めて～ 講師 弁護士 藤原精吾氏	153分	10本

4	ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業第13期生 エティカさんによるミニ講演 「B u l a f r o m F i j i !」	38分	5本
5	第30回兵庫県ろうあ者大会記念講演 「韓国のろう運動に学ぶ」 講師 ビョン・スンイル氏	68分	5本
6	2011年度「ひょうご聴障ネット」夏の学習会 「聴覚障害者と差別禁止法パート2」～安心して暮らせる未来を求めて～ 講師 弁護士 藤原精吾氏	188分	5本
7	第38回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい 第2部 アトラクション 「慶びの舞～松竹梅～」踊っこチーム「舞え え華」 記念講演 「私たちの出会い」講師 伊藤行夫氏	123分	5本
8	青年講座 「ノルウェー・手話と私」 講師 ヘニ・ロットヴィット氏	105分	5本
9	聴覚障害者向け情報発信ビデオ センターニュースNo.2	27分	10本
10	ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業第14期生 レイモンドさん(フィリピン)によるミニ講演 「フィリピン～ボホールろう文化」	119分	5本
11	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 賛助会員用 読取学習ビデオ	10分	40本
12	私の歩んだ道シリーズ6 半田知子さん	30分	50本
13	兵庫県手話通訳者登録試験 読取試験問題	5分	6本
14	手話通訳者養成 読取学習用ビデオ 「広げよう楽しい会話」シリーズ3	30分	30本
15	アジアろう児・者友好プロジェクトご協力のお願い（制作協力） 制作著作 全日本ろうあ連盟	10分	1本

2. CS障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供を行った。

提供①	8月21日放送 「つつうらうら～新たな共生への第一歩 淡路ふくろうの郷の取り組みから～」	10分
-----	---	-----

3. 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。

(全 10 本)

配信①	聴覚障害者向け警察ビデオシリーズ 運転免許の取得について（平成 24 年 4 月改正）	20 分
配信②	情報センターニュース 24-1	10 分
配信③	情報センターニュース 24-2	10 分
配信④	つつうらうら～新たな共生への第一歩 淡路ふくろうの郷の取り組みから～	10 分
配信⑤	兵庫からの手話語り（全 5 本）	30 分
配信⑥	インターネットを活用した情報配信について	10 分

・マスコミ取材対応

マスコミによる映像活用促進を行った。掲載日は以下の通り。

(新聞掲載)

- ・神戸新聞 8 月 15 日（土）朝刊（運転免許取得の DVD）

(8) 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

1. 「聴覚障害児とママ&パパ交流会」 8 月 10 日（土）10:00～15:00

地域の学校に通う聴覚障害児の同障児交流の場が必要だと感じ、ろう協青年部、難聴青年部、ろう教育を語り合う会、兵通研下部組織 U35 と共に交流会を実施。

ご夫婦参加も多く、スタッフの 9 割が聴覚障害者ということに驚きと感動を覚え、初めて体験する情報保障に子供たちも感動していた。とても有意義な企画となった。

参加者：参加者 60 スタッフ 30 名 計 90 名

(内訳) 神戸市内（大人 17 名、子ども 13 名（難聴児 11 名含む））

神戸市外（大人 14 名、子ども 16 名（難聴児 10 名含む））

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：(午前) 会議室：シンポジスト 8 名による体験談と懇談

(県難聴青年部、ろう協青年部)

サロン：子ども待機場 + 別室での保育

(午後) 会議室：ろう協青年部主催の体感ゲーム

サロン：難協青年部主催の製作コーナー

(ペットボトル工作、紙工作、粘土細工)

2. 「聞こえ」を学ぶセミナー（9 月 22 日（土・祝）） 参加者：89 名

中途失聴・難聴者支援事業推進委員会が実行委員会を立ち上げて実施。

不況により難聴者が苦境に立たされており、就労について話し合う場を設けることとなった。

要約筆記への理解度が低く、制度的な支援もなく、雇用率の引き上げに伴い未手帳難聴者や等級の低い難聴が更なる苦境に立たされている現状が浮き彫りとなった。

会場：兵庫県福祉センター

内容：シンポジウム「中途失聴・難聴者の就労について」

講演「中途失聴・難聴者の就労と制度について」

グループディスカッション ①医療・福祉グループ ②事務職グループ

① 営業他 グループ

3. 「聴覚障害」の理解セミナー

相談員4名が講師を務め、手話通訳者1名と共に講義・進行を行う
福祉関係者として、地域の障害者へ支援されている方を対象に実施
講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。

6/22（金） 13:30～16:00 宍粟市役所 庁議室 受講者 7名

8/24（金） 13:30～16:00 丹波市氷上住民センター 受講者 11名

4. 「聴覚障害者文化祭」の開催

日時：10月13日（土）10:00～15:00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール

参加者：延べ450名

内容：作品展示、バザー、ステージ発表など

5. 「西脇市における難聴者のつどい」の開催

日時：2月16日（土）13:00～16:00

場所：たつの市福祉会館

参加者：21名

内容：講演「補聴器を上手に使いこなす方法を学ぶ」

聞こえを補う機器の説明、体験発表

6. 「たつの市における難聴者のつどい」の開催

日時：11月26日（月）13:00～16:00

場所：西脇市総合福祉センター

参加者：46名

内容：講演「補聴器を上手に使いこなす方法を学ぶ」

聞こえを補う機器の説明、体験発表

7. 「手話サロン」の開催

聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報サロンで実施した。

1回目 日時 平成24年 5月9日（水）13:00～16:00

2回目 日時 平成24年 7月4日（水）13:00～16:00

3回目 日時 平成24年 12月4日（水）13:00～16:00

4 回目 日時 平成 25 年 2 月 6 日 (水) 13 : 00 ~ 16 : 00

8. センター企画

【ろう企画】

1、手話でいろいろと学べる「寺小屋」

聴覚障害を持つ学生～成人を主に、学習支援の場の提供

ろうあ者相談員と講師スタッフと共に実施 (年8回) 参加登録者2名

7/28、8/25、9/8、10/6、11/10、11/24、12/1、12/15 (全土曜 10:00~12:00)

→ 平成25年度は、日本財団の支援を受けて実施予定。

月2回+夏のイベント1回 子供たちを集めて学習とレクリエーションの場の提供。

2、手話で「日本語」を学ぼう

聴覚障害大学院生1名と講師補助1名が主導となって日本語学習の場を提供。

情報保障なし。

9/29 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 4名

10/ 6 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 3名

11/10 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 3名

11/17 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 3名

【こころ企画】

●「自分のところについて語り合ってみませんか」

メンタル面の病気をもつ聴覚障害者の自助グループ企画

少人数の自由な雰囲気の中で話し合う。

4/ 7 (土) 13:30~15:30 情報センターキッズルーム 参加 2名

5/12 (土) 13:30～15:30 情報センターキッズルーム 参加 1名

6/23 (土) 13:30～15:30 情報センターキッズルーム 参加 5名

7/28 (土) 13:30～15:30 情報センターキッズルーム 参加 4名

→ 次年度は、センターはサポート役として、主導者中心にサークル形式で検討中。

(9) 要約筆記者派遣事業

【通訳センター（県公費）】

[illegible]

要約筆記者	7	27	6	19	6	22	8	27	5	19	6	19	100	333
-------	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	-----	-----

【通訳センター（市町公費）】

事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	1	2	4	9	2	5	5	10	4	9	4	6	20	41
事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	6	11	8	13	8	15	3	5	7	12	6	11	58	108

（１０）盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
盲ろう通訳介助	131	152	132	157	136	158	158	207	114	153	132	179	802	1005
事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
盲ろう通訳介助	144	173	142	166	126	139	151	187	119	139	150	190	1635	2000

（１１）中途失聴・難聴者コミュニケーション訓練事業

従来から協力いただいている兵庫県難聴者福祉事業協会に加え、たじま聴覚障害者センター、淡路聴覚障害者センターと共に運営。県内を県民局単位に区分し、市の独自開催も調べたうえで最低１箇所は何かしらの事業が開講されるように取り計らった。

地域別	開催地	内容	日 時	場 所	参加者数	講師名
神戸	神戸市	読話	5/19、26、6/2 (土)	情報センター	11名 (延べ31名)	ST 岡 恵子氏
		手話	6/9、16、23(土)	情報センター	11名 (延べ31名)	加藤 めぐみ氏
阪神	川西	手話	9/1、8、15(土)	ふれあいプラザ	9名 (延べ19名)	北村 明子氏
東播磨	稲美	読話	1/20(土)	稲美町障害者 ふれあいセンター	7名	ST 岡 恵子氏
北播磨	三木	読話	9/13、20、10/4、 23、11/5	三木市立市民 活動センター	7名 (延べ26名)	ST 上田 月美氏
中播磨	姫路	手話	3/6、23、30(土)	姫路市自治 福祉会館	26名 (延べ67名)	鎌田 種子氏

但馬	豊岡市	読話	6/30（日）	アイティ市民 プラザ	6名	ST 白杉 拓也 氏
淡路	南あ わじ	読話	11/18（日）	南淡公民館	10名	ST 岡 恵子氏
	洲本	読話	8/19（日）	洲本市 総合福祉会館	21名	ST 岡 恵子氏
	淡路市	読話	2/6（水）	しづのおだまき 館	9名	ST 岡 恵子氏

（１２）ろうあ者社会生活教室開催事業

日 時	内 容	参加 人数	会 場
7月7日(土) 14:00～16:30	第16回ろう教育学習会 講演：「365日のワークシート～手話、日本語、そして障害認識～」について 講師：全国聴覚障害教職員協議会会長 堀谷 留美氏	94名	神戸市立総合福祉センター
9月17日（月・祝） 13:30～15:00	こうれいしゃ講演会 講演「珈琲とエンピツ」 講師：映像作家 今村 彩子氏	90名	神戸市立総合福祉センター
11月17日(土) 14:00～16:00	手話フォーラム 講演「私の歩んできた道」 講師：伊藤 行夫氏	59名	西宮市市民交流センター
11月25日(日) 10:00～12:00	女性セミナー 講座「古典連鶴を学ぼう！」 講師：公益社団法人長寿社会文化協会グループひょうごWAC代表 入鹿山 松子氏	36名	神戸市立総合福祉センター
1月26日(土) 13:30～16:00	青年講座 講演「ノルウェー、手話と私」 講師：ヘニ・ロットヴィット氏	18名	姫路市自治福祉会館
2月2日(土) 13:30～16:30	スポーツ机上講座 講座「体幹トレーニング」 講師：日本障害者スポーツ協会 公認障害者スポーツトレーナー 岩田 秀治氏	24名	あすてっぷKOBÉ
2月9日(土) 10:00～12:00	労働・福祉セミナー 講演「就職相談支援について」 講師：大阪ろうあ会館在宅支援課 手話通訳士 齋藤 渡氏	26名	神戸市立総合福祉センター

(13) 盲ろう者生活訓練事業

盲ろう者が日常生活を送る上で必要なコミュニケーション手段（触手話・指点字・点字・手書き）などを身につけるためのコミュニケーションリハビリテーションの実施や必要な訓練を行った。

1. コミュニケーション訓練

日程：毎週水曜日 13時～15時 全47日

場所：神戸市立総合福祉センター、あすてっぷ KOBE

参加：盲ろう者 延べ441名 支援者 延べ437名

内容：点字(触読・ブリスト)手話・触手話・指文字・指点字などの習得訓練、盲ろう者向けパソコン操作の訓練

(14) ひょうご通訳センター事業（手話通訳・要約筆記）

【ひょうご通訳センター事業（手話通訳）】

1. 登録状況(手話通訳) 2013.3.31 現在

	A登録	B登録	C登録	合計
合 計	43	98	130	271

2. 研修会開催実績

研修会名	期 日	場 所	受講者数	研修内容
専門分野研修	8月4日	情報センター	33名	「事例検討～私ならこうする！？」 グループ討議 進行担当：コーディネーター 兵聴協認定手話通訳者
	12月22日	情報センター	83名	「聞こえない人の暮らしを見つめて」 講師：北野 雅子氏 石川県聴覚障害者センター施設長 「被災地での情報保障と支援者の役割」
ランク別技術研修	9月16日	情報センター	40名	「模擬通訳演習」 講師：池上 睦氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 認定手話通訳者・手話通訳士
	2013年 3月9日	兵庫県民会館	38名	手話通訳者・要約筆記者合同研修会 「互いの仕事について」 手話通訳者 池上睦氏 要約筆記者 佐伯祝子 グループワーク ① 経験交流・意見交換 ② 今後の連携や工夫について

3. 派遣コーディネート(手話通訳)

実施月 事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
手話通訳者	64	76	55	66	54	76	52	64	47	67	47	59	319	408
実施月 事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
手話通訳者	60	72	46	56	46	57	33	35	49	65	61	81	614	774

4. 兵庫県手話通訳者認定試験事業

手話通訳者養成課程修了者に対する全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施した。

実施日時：2012年12月1日（土）

合否発表：2013年3月22日（金）

会 場	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	協力要員数
神戸市立総合福祉センター	106名	13名	93名	8名	18名

1. 設置手話通訳者会議の開催

県下各市町、社会福祉協議会、職業安定所で手話通訳者として業務をしている者を対象に設置手話通訳者会議を開催した。

第1回 設置手話通訳者会議

日時：5月22日（火）13：30～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：「兵庫県立聴覚障害者情報センター事業の事業報告と事業計画」の説明

兵庫県立聴覚障害者情報センター 所長 嘉田眞典

「相談支援の実践・関係機関との連携について」意見交換

参加者：21名

第2回 設置手話通訳者会議

日時：7月18日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：「生徒の卒業後の社会参加に向けた設置通訳者との連携」を考える

「兵庫県立神戸聴覚特別支援学校の現況について」の説明

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 緒方先生

・その他 情報交換

参加者：23名

第3回 設置手話通訳者会議

日時：2月20日（水）13：30～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：フォーラム「総合支援法における自治体手話通訳者のしごと」の報告

三田市設置手話通訳者 星野令子・龍美香子

「設置通訳者と派遣事業のケースについて」

西宮市設置通訳者 山下美子

・その他 情報交換

参加者：26名

2、コーディネーター研修会の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に研修会を開催した。

日時：11月14日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：手話通訳者・要約筆記者の派遣コーディネートにおける危機管理

講師：大谷大学社会福祉学准教授 志藤 修史 氏

参加者：24名

3、コミュニケーション支援事業担当者会議の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日時：9月19日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

参加者：57名（兵庫県・29市町）

内容：①あいさつ

②ひょうご通訳センター(手話・要約)事業報告

③コミュニケーション支援事業（派遣事業）実態調査の報告

④要約筆記者養成カリキュラム通知に伴う今後の要約筆記事業について

⑤手話通訳派遣事業実施モデル要綱に対する各地域の実情

⑤盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業について

⑥その他 各地域の実情報告、意見交換

4、けいわん検診の実施

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆

記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

○けいわん検診実施状況

① 西宮会場 西宮市総合福祉センター

9月18日（木） 9:30～12:00 受診者 21名

② 神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター

9月25日（火） 9:30～16:00 受診者 40名

11月27日（火） 9:30～16:00 受診者 39名

③ 高砂会場 高砂市福祉保健センター

10月11日（木） 11:00～16:00 受診者 33名

検診結果は次の通り

判定結果	計
A： 健常期	34名
B 1：疲労期	75名
B 2：初期	24名
B 3：顕性期	0名
C： 重症・遷延期	0名
計	133名

○受診結果報告と学習会の開催

受診結果については各市町、事業所の所属長、個人に通知し、同時に学習会への参加を呼びかけた。

日 時：12月22日（土）10：00～12：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

テーマ：「2012年度の受診結果の分析と頸肩腕障害と予防方法について」

講 師：吉倉 正氏（西淀病院社会医学研究所事務長）

参加者：19名（内検診受診者3名）

【ひょうご通訳センター事業（要約筆記）】

1. 登録状況 160 名（3 月 31 日現在）

2. 研修会開催実績

研修会名	期 日	場 所	受講者数	研修内容
登録要約筆記者研修会	4月15日	情報センター	71人	「派遣事業について（オリエンテーション）」 「要約筆記者養成の必要性」 講師：全難聴 藤谷弘晃氏
	9月9日	豊岡市民プラザ	14人	「派遣事業について（オリエンテーション）」 「要約筆記者養成カリキュラムについて」 「筆記実習（OHC）」 講師：登録要約筆記者
	10月5日	情報センター	67人	「要約筆記技術の統一を目指して」 講師、進行：県要連技術部
	11月11日	情報センター	47人	指導者養成研修報告会 報告：H24年度受講者
	2月19日	情報センター	40人	要約の学習 講師：通訳センター登録要約筆記者
	1月20日	情報センター	29人	パソコン要約筆記における要約
	2月13日	情報センター	30人	共有情報の活用
	3月9日	情報センター	31人	手話通訳者・要約筆記者合同 「互いの仕事を知る」

（15）聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されています。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しています。

「ひょうご防災ネット」メール登録件数報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録件数	お知らせ情報	725	782	777	778	775	804	807	807	808	799	792	792
	緊急情報	908	969	961	967	964	1004	1002	1005	1006	996	989	996

(16) 情報機器の利用・貸出し事業

部屋の利用状況報告

実施月 部屋名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月			
	件	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
会議室兼研修室 (夜間)	18	579	21	393	19	362	19	364	18	631	19	219		
	2	27	1	18	1	18	1	15	2	25	0	0		
交流室 (夜間)	10	164	13	271	13	272	16	183	14	166	18	407		
	2	12	1	2	2	2	2	12	2	12	2	12		
その他来館者 (夜間)	24	276	28	332	31	394	30	298	17	472	22	246		
	0	0	1	7	1	8	1	10	1	4	0	0		
実施月 部屋名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室兼研修室 (夜間)	27	1772	23	499	19	523	11	220	19	501	22	399	235	6462
	2	15	1	15	0	0	1	25	1	9	3	69	15	236
交流室 (夜間)	23	1358	12	140	14	352	14	178	17	352	10	162	174	4005
	3	17	2	12	2	12	2	11	2	11	1	26	23	141
その他来館者 (夜間)	34	2527	19	193	28	392	17	202	21	465	20	286	291	6083
	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	39	7	78

※その他来館者：情報サロン、IT 室等の利用者を含む

(17) 聞こえの相談事業

言語聴覚士による聴力測定、補聴器相談他、中途失聴・難聴者の相談窓口として対応
必要に応じて耳鼻咽喉科医師の協力を得ました。予約制

きこえの相談・・・言語聴覚士 岡 、 耳鼻科医師 岡野（不定期）

〔相談件数〕 ※コミ＝コミュニケーション、（ ）内は医師相談

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
コミ相談	13	14	13 (2)	14 (1)	11 (2)	15	11	10	18 (4)	12	18	13	162
機器相談	5	4	3	5	2	0	2	10	0	3	2	3	39
合計	18	18	16	19	13	15	13	20	18	15	20	16	201

〔相談内容〕

- きこえ・補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、補聴器装用試聴について など）
- 福祉機器の相談（火災警報器関連機器、IT 情報機器、クラス内の情報保障の構築など）
- コミュニケーション（職場内、親子間 など）
- 生活相談（就業、福祉制度、介護支援 など）

○こどもの難聴について（両親指導、学習支援 など）

○関係機関（役所、教育機関など）

〔評価・課題〕

○展示・福祉機器の貸出件数増加 → 学習会での利用目的も増えている

○更正相談所巡回相談廃止後の意見書作成等対応公的機関がない→ 県担当者に機能移管を相談中

○啓発事業の実施→支援者を対象とした「聴覚障害」の理解セミナーを2地域で開講
社会資源の拡大とネットワークの構築を目指す

○子供支援・親支援→夏に交流会企画を関係団体の協力の下実施。寺小屋企画の実施。
心理相談員と共に親子カウンセリングの対応（件数増加）

（18）こころの相談事業

臨床心理士（聴覚障害者）による心理カウンセリングを主とした相談支援の実施。

月2～3回（予約制）

こころの相談・・・臨床心理士 甲斐（月2～3回 不定期10～17時 土曜日）

淡路出向 年10回

〔相談件数〕

※来所・電話・メール・FAXによる相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
こころの相談 (センター)	33	39	55	45	28	43	18	37	38	35	42	43	456
こころの相談 (淡路)	6	10	6	8		8	5	10		8	6	10	77
合計	39	49	61	53	28	51	23	47	38	43	48	53	533

〔相談内容〕

○精神病対応（統合失調症、うつ、双極性障害、パニック障害、神経症、人格障害 他）

○過去の出来事（トラウマ）、依存症

○自分の親、兄弟との関係（コミュニケーションなど）、コーダの問題

○夫婦関係（DV、離婚問題など）

○就労支援、生活スキルの獲得（精神疾患に伴う）

○盲ろうによる孤独、不信感

○こどもの不登校問題、発達障害、発達支援（重複障害含む）、発達・心理検査

○住宅トラブル

○メンタルヘルスに関する知識提供

○コンサルテーション、連携・情報交換

〔評価・課題〕

○継続ケース、危機介入または重篤なケースが増加。

それに伴い、関係機関との連携も増加。

○親子面接の増加

○記録を書く事務時間が得られない → 常勤化の必要性を県へ要望

(19) 盲ろう者相談事業

盲ろう者支援に長く携わる相談員、精神保健福祉士による相談支援の実施。

月1回：情報センターにて実施、その他、依頼に応じて訪問相談を行った。

盲ろう者相談・・・・・・盲ろう者担当 平井・山田

(情報センター在勤：月1回13：00～16：00) 別途、訪問相談あり

〔相談件数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
訪問	4	3	1	6	5	3	6	2	3	4	4	2	43
合計	5	4	2	7	6	4	7	3	4	5	5	3	55

〔相談内容〕

○家族からの相談（引きこもり、暴言、将来への不安など）

○関係機関から（訓練施設における盲ろう者受け入れについて、福祉機器の必要性）

○環境づくりへのサポート（一人暮らしへの支援、日中活動、同行援護など）

〔評価・課題〕

○潜在的な盲ろう者への支援

障害の程度悪化に伴い、環境や仲間の関係が変化する過程に支援が不足

→ 相談事業の周知を求め、役所等の関係機関への訪問を強化したい

○身体障害者手帳非該当の弱視難聴者への支援

制度利用ができず、交流や作業所利用にとどまらざるを得ない。

→ 支援の在り方を今後も検討していきたい

〔講師活動〕

○理解セミナー（宍粟、丹波）

○アイフェスタ in 神戸（福祉機器展示相談協力）

(20) 難聴者教室事業

●新温泉町「聞こえと補聴器の勉強会」（10月29日（日））参加者 13名

会場：新温泉町健康福祉センター すこやか〜に
 聞こえの話（たじまセンター職員）補聴器の話（認定補聴器技能者か）、個別相談
 難聴者を取り巻く環境改善のための支援につながる会組織を求める声があった。
 新温泉町に要約筆記者はなく、豊岡と阪神地域の合同チームで情報保障を対応。
 要約筆記者にとっての研鑽の場にもなった。

●聞こえと補聴器の勉強会（3月 9日（土））参加者：12名

会場：アイティ7階 豊岡市民プラザ 市民活動室D
 難聴者の体験発表（難聴者）、聞こえの話（言語聴覚士）、補聴器の話（店）
 若い方からご年配まで、さまざまな方が集った。豊岡在住の先天性難聴の方による体
 験発表は、皆さん、心打たれたと感想に書かれていた。

●手話歌を楽しもう（偶数月第3水曜（8月を除く））

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
 講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。
 4/18（水）カードやカルタで手話表現、「翼をください」 参加者 17名
 6/20（水）七夕づくり、「雨」「七夕さま」 参加者 13名
 10/17（水）頭の体操、「村祭り」「里の秋」 参加者 23名
 12/19（水）手形サンタ製作「雪」「サンタが町にやってくる」参加者 15名
 2/13（水）「しあわせなら手をたたこう」
 「今日の日よ さようなら」 参加者 9名
 →平成25年度は、4月を除く、偶数月第3水曜日に開催予定。
 また、読話を学ぶ場を求める声もあるため、奇数月には読話サークルを立ち上げ予定。

●手芸サークル（毎月第2水曜）13：30～15：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
 講師は、中途失聴の為に講師業を辞めていた方、縫製・手芸を独学で磨いた
 難聴者の2名が同障害者同士が楽しく集える場を作りたいという気持ちを受けて始ま
 った。手話ボラ配置。クリスマス会、新年会も開催した。（この時のみ要約筆記ボラ
 配置）

製作品：パッチワーク、モラ、キャラクター手芸品 など

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	15	11	7	9	7	8	7	5	5	5	6

→ 次年度は、偶数月を小物製作の日、奇数月をパッチワークの日と定めて実施予定。

（２１）聴覚障害者災害対応訓練事業

１．兵庫県合同防災訓練の協力

兵庫県が毎年実施している合同防災訓練に参画し、聴覚障害者が訓練に参加しやすいように提言したり、県障害者支援課や地元市町と連携しながら地域の聴覚障害者に呼びかけ住民と共に訓練参加してもらい、防災意識の向上及び聞こえないことに対し住民の理解につなげました。

近畿合同防災訓練第１回全体会議

日時 平成 24 年 6 月 27 日（水）13:30～16:00

場所 兵庫県災害対策センター

内容 近畿合同防災訓練計画の説明

県合同防災訓練第２回全体会議

日時 平成 24 年 9 月 21 日（日）13:30～15:00

場所 神戸市教育会館

内容 近畿合同防災訓練計画の具体的な説明

平成 24 年度兵庫県・神戸市合同防災訓練（近畿合同防災訓練）

日時 平成 24 年 10 月 28 日（日）9:00～12:30

場所 湊川公園（神戸市兵庫区）

内容 津波を想定した避難訓練、展示、救援物資配給訓練

２．聴覚障害者災害支援ハンドブックの作成

阪神・淡路大震災の経験をもとに災害時、聴覚障害者がどのようなことに困るのか、どのような支援が必要なのかをまとめたハンドブックを作成し、関係機関に配布しました。

発行部数 300部

配布先 県下市町、兵庫県下の小学校、神戸市内の中学校、聴覚障害関係団体等

３．都賀川等「河川の安全見守り活動検証訓練」の参加・提言

この訓練は平成 20 年 7 月 28 日に起きた都賀川増水事故をきっかけに、地域住民を中心として梅雨・集中豪雨の季節の前に行われている。情報センターも地域団体の一つとして、参加しました。

日時：平成 24 年 6 月 15 日（金）午後

場所：都賀川公園周辺

屋外訓練が終わった後は 自治会館に移動し、各団体やコミュニティの方々と消防・行政の方々と、訓練の結果や問題点についての意見交換会が開かれた。センターからは「文字ボードによって情報が得られるのは良いことだが、慌てていると文字ボードに気づかな

かったり、夜間だと見えない心配がある。懐中電灯などでボードの存在を知らせる工夫があれば良い」等の提言をした。

(22) 助成金事業

1. 平成24年度兵庫県聴覚障害者自立支援機器普及促進事業

障害者（児）の自立や日常生活の一層の支援を図るため県立聴覚障害者情報センターに自立支援機器を整備し、試用に供するとともに、モニター評価を行い開発者等にその内容を提供する。

2. 整備機器

品 目	整備数	備考
携帯型点字ディスプレイ	1 台	音声点字携帯情報端末（盲ろう者用）
携帯型磁器ループシステム	5 台	
高性能集音・補聴システム	2 台	

【収益事業等】

《収－１ 出版物等普及事業》

（１）出版事業

全体的に販売が低調だった。売上額が約 570 万円と予算を大幅に下回る結果となったが、仕入調整等の結果 100 万円超の黒字を出すことができた。年度の後半に連盟から販売された新刊、「手話で防災」「守ろう！L I F E」の売上が好調で、防災に関する意識の高さが見うけられる。

「M I M I」については、地域協会経由での購入と個人定期購読があり、1 号当たり 190 部、210 部を仕入れているのでその残を一般販売している。

売上の多くを手話講座のテキストに頼っている現状で、在庫を多く抱えている当協会独自出版物（「負けへんでシリーズ」「小松博を想う」「ふくろう 5 周年記念誌」等）のさらなる普及が課題となっている。販売・在庫管理については昨年度より専用ソフトを導入し、導入している会計ソフトとも照合しながら随時正確な管理に努めている。

仕入れ先への代金はできるだけ早く支払うよう心がけている。地域協会への売掛金については協会とも相談しつつ、できるだけ速やかにお支払いいただくよう、連絡を取っている。年度末時点での売掛金額は約 26 万円。全て回収の見込みが立っている。来年度はテキストの全面改訂があり、旧本の返品が見込めないので在庫調整を慎重にしながら販売活動を行っていきたい。

2012 年度 書籍売り上げベスト 30 （協会への預け売り・売掛も含む）

2013 年 3 月 31 日現在

順位	品 名	数 量	売上額 (円)
1	新・手話教室 入門	837	1,027,200
2	新しい手話 2013	470	376,000
3	手話で防災 ～聴覚障害者の災害時支援のために～	433	226,275
4	手話教室 基礎（改訂版）	336	493,920
5	新しい手話 2012	298	237,600
6	M I M I 1 3 7	208	155,250
7	M I M I 1 3 8	203	152,250
8	M I M I 1 3 6	200	149,250
9	M I M I 1 3 5	195	144,750
10	わたしたちの手話学習辞典	188	510,510
11	M I M I 1 3 9	186	139,500
12	守ろう！LIFE ～聴覚障害者の防災体制の確立のために～	167	230,685
13	2013 年度行事入り卓上カレンダー（事業部）	120	59,500

14	養成講座 基本課程（改訂版）	106	111,800
15	みんなでつくる 手話言語法	81	44,000
16	たっちちゃんと学ぼう	73	14,600
17	養成講座 応用課程（改訂版）	55	77,000
18	365日のワークシート	52	130,000
19	実用手話単語集（入門対応）	47	89,300
20	未来への問い	35	70,000
21	阪神・淡路大震災 DVD	31	93,000
22	新・手話教室 入門 指導書	26	39,000
23	誇りを持って未来へ	24	12,000
24	養成講座 実践課程（改訂版）	19	25,200
25	北海道カレンダー（小）	18	5,200
26	全国地名手話マップ	17	35,700
27	DVD「私の歩んだ道」シリーズ6 半田知子	16	30,000
28	誇りを持って未来へ（旧）	16	8,000
29	北海道カレンダー（大）	16	7,000
30	淡路ふくろうの郷5周年記念誌～負けへんで4～	14	28,000

（２）事業部

１．講演会

日 時：２０１３年３月３１日（日）

時 間：１３：３０～１７：００

会 場：神戸市立新長田勤労市民センター別館ピフレホール会議室A

タイトル:バレーボールに打ち込んだ人生について

講 師：山崎 望選手

参加人数：４３名

２．兵聴協オリジナル非常持ち出し袋防災袋

販売数：１個

３．ゆずり葉上映会

実施数：１回

・２０１２年１０月１３日（水）加西相談支援センター

４．要約筆記用ＯＨＰロール・補聴器電池・筆談器販売事業

兵庫県立聴覚障害者情報センター内で聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害の理解を深めるための講演にセンター職員の講師を派遣した。

ロール：８７８本

補聴器電池：４４個

筆談器：２８台

講師件数：１１件

５．自動販売機事業

設置数：３台

- ・神戸ろうあハウス
- ・たじま聴覚障害者センター
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター（オリジナルデザイン）

６．国際手話入門講座

国際手話の普及と啓発、外国への関心を向け、グローバルな視点、幅広いコミュニケーション能力を身につける一歩になる目的として、NPO法人日本ASL協会が年賀寄附金配分事業として開催するにあたって、開催地として宣伝、受付窓口、会場提供を行った。

開催日：２０１３年１月１１日（金） １９：００～２１：００

開催会場：神戸市立総合福祉センター

講師：大杉豊氏

参加人数：９名

《収－２ ひょうご聴覚障害者介護支援センター運営事業》

ひょうご聴覚障害者介護支援センター

介護保険法

- ・居宅介護支援事業（ケアマネージャーによるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパーの派遣）

障害者自立支援法

- ・居宅介護・重度訪問介護事業

I 運営委員会開催

１．開催日（月１回 合計１２回）

４／２３、５／２１、６／１９、７／２５、８／２９、９／２６、１０／２４
１１／１６、１２／２６、１／２３、２／２５、３／１９

２．運営委員（８名）

守谷嘉之・嶋本恭規・嘉田眞典・古隆喜・中島正二・久保田真由美・西村リエ・東光子

３．内容

- ・兵庫県内の高齢者支援について（特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷と合同会議）
- ・人材確保・利用者掘り起し方法の検討
- ・ろうあ協会との体制作り
- ・同行援護事業について
- ・制度改正に伴う対応検討と報酬支払規程の変更

II 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣事業

１．平成２４年度利用者数・ヘルパー派遣時間

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
居宅介護支援事業（人）	12	13	13	14	14	14	15	15	12	12	12	14
ヘルパー派遣利用者（人）	12	13	12	13	13	13	14	13	12	12	14	13
ヘルパー活動人数（人）	25	25	24	28	28	29	25	28	28	28	28	30
月間派遣時間（時間）	394.0	396.7	371	450	385.7	413	452	363	304	297	298	353.6
延べ派遣日数（日）	175	185	175	216	195	207	211	172	146	147	146	172

2. 年齢別派遣数（平成25年3月末）

《年齢別派遣件数》

介護度	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
要支援					男性① 女性①			2人
要介護1				男性①	男性①			2人
要介護2	男性①	男性①	男性①	女性①	女性①			5人
要介護3				女性①		女性①	男性①	3人
要介護4			女性①			女性②	男性① 女性①	5人
要介護5								0人
障害者	男性① 女性④							5人
合計	6人	1人	2人	3人	4人	3人	3人	男性⑨ 女性⑬

3. 前年度比較

（1）延べ派遣日数・派遣時間

	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援
延べ派遣日数	2,203日	80日	2,116日	133日	2,147日	243日
派遣時間	5057.0時間	160時間	5046.5時間	287.5時間	4478.0時間	506.5時間

（2）介護度

	平成23年度	平成24年度
要支援1	0	1
要支援2	0	1
要介護1	2	2
要介護2	4	5
要介護3	4	3
要介護4	7	5
要介護5	0	0
障害者	3	5
合計	20人	22人

（3）年齢

	平成23年度	平成24年度
65歳未満	4	6
70歳未満	0	1
80歳未満	5	5
90歳未満	8	7
90歳以上	3	3
合計	20人	22人

4. 平成 23 年度地域別利用者数

派遣地域（平成 24 年度末現在）

尼崎市、神戸市、明石市、赤穂市、多可郡、三田市、豊岡市

ブロック	介護保険法	自立支援法
阪神	2 人	0
神戸	10 人	5 人
東播	1 人	0
西播	1 人	0
北播	1 人	0
丹有	1 人	0
但馬	1 人	0
合計	17 人	5 人

Ⅲ ヘルパーについて

1. 登録ヘルパー

人数：47 名（内訳：ろうあ者 28 名 健聴者 19 名）

2. ヘルパー会議および研修

月 1 回（基本的には毎月 6 日 14 時～ 兵聴協事務所）

活動しているヘルパーが情報共有・知識・視野の拡大・技術などの学習を行っている。

3. 登録ヘルパー研修会

① 7 月 8 日（日）

『在宅で暮らし続ける為の住環境』 講師：浦野 徳也氏

福祉用具の種類や使い方、注意点を学び、福祉用具を上手に使うことで QOL が向上することを知った。また、現場の声は業者にとって、とても参考になるとの話に、ヘルパーとして漫然と仕事をすることなく、アンテナをはろうと意識を新たにした。

② 9 月 2 日（日）

『肺炎予防のための呼吸ケア！』

講師：兵庫県看護協会集中ケア認定看護師 前田 靖子氏

なぜ、呼吸ケアが大切なのかを呼吸器系の基礎知識を交え、説明頂いた。誤嚥性肺炎が口腔ケアで予防できることを知り、機能低下を防ぐケアの大切さを理解できた。

うな製品が多い中、選び方のアドバイスもあり、参考になった。

③ 1 月 20 日（日）

『盲ろう者をしよう』 講師：NPO 法人兵庫盲ろう者友の会 平井 裕子氏

身近ではあるのに良く知らない盲ろう者について、体験を交えての講演をして頂いた。見え方にも色々あり援助の仕方個人個人違うことを知った。つい、手を出しすぎるヘルパーの特性を反省もし、自立を目的とする援助を再確認した。

④ 3月9日（土）（兵庫手話通訳問題研究会合同）

『タクティールで緩和ケア』（株）日本スウェーデン福祉協会 上坂 勝芳氏

利用者にふれることで、安心と信頼の感情が引き起こされ、不安や痛みを緩和する手法を学んだ。また認知症においては、利用者を理解することの大切さ、そしてそれによっての変化を学ぶことで、日々のケアに役立てる。

IV 講演活動

- ・（明石市福祉部 障害福祉課からの依頼）

8月4日（土）10時～12時 明石市立総合福祉センター

『ケアマネジャーから手話通訳者に伝えたいこと』 ケアマネジャー 中島

- ・（兵聴協 福祉対策部からの依頼）

3月16日（土）13時半～ 神戸市立総合福祉センター

『聴覚障害者の虐待防止について』 ケアマネジャー 中島

- ・（近畿ろうあヘルパー連絡会からの依頼）

3月24日（日）13時半～15時

『現在、思う事』 ケアマネジャー 中島

V 総括

1. 高齢かつ重度利用者への対応

毎日介護が必要な重度の方や利用者の高齢化に伴い、体に触れる身体介護の時間数が増えてきている。ヘルパーの人材確保と質の向上が継続課題である。

2. 行政への取り組み

ろうケアマネが要介護認定の申請代行や認定調査・ケアプランの作成をし、手話で会話ができるコミュニケーション能力の高いヘルパー派遣をし、利用者主体のサービスを行っていることの周知・普及が課題である。今年度は協会と共に、各地域の行政・あんしんすこやかセンター・地域障害者支援センターなどを訪問し、新たに作ったパンフレットを置いてもらう活動を始めた。

しばしば法改正などが行われており、それによって何が問題であるかを事業所が把握し、協会とともに必要な場合は行政に対して要望を出し、運動につなげるよう運営委員会で報告し検討を行っている。

また、高齢（重複）聴覚障害者の実態やニーズにあった支援ができるよう、社会資源の把握と開拓が必要である。病院や施設に入れたとしても、障害理解がなく、トラブル

になったケースもあった。

家族に理解がなく、本人の情報量の限界もあり、支援ができなかったケースもある。また、訪問を重ね信頼関係を築くことから始めなければならないケースもあり、時間と労力がかかることを行政などにも理解を求めている。

3. ヘルパーの技術や質の向上の取り組み

年4回の登録ヘルパー研修以外にも、毎月のヘルパー会議の中で様々な学習をし、知識、技術の習得に努めた。さらに、ヘルパーの接遇や倫理感、マナーをチェックすることで、意識を持って業務にあたるように指導した。

4. 重複聴覚障害者の援助技術の向上

障害者自立支援法（現：障害者総合支援法）によるサービスが増えてきている。精神障害、盲ろうの利用者に対して、障害を正しく理解するための学習を重ね、利用者に寄り添う介護を目指している。

《他－１ 会員・関係団体相互扶助事業》

(概要)

(１) 青年部

１．総括報告

昨年４月に親団体である兵庫県聴覚障害者協会が公益社団法人となり、新たな気持で活動しはや１年が経ちました。今年度は９回常任委員会を開催することができました。しかし、依然として常任委員の出席率は低いなど課題が残りました。この反省を次年度に生かしていきたいと思います。

事務局に関しては、常任委員会の招集・議事録作成、行事に関して公文書作成、各行事の案内呼びかけを行い、青年部の活動に微力ながらも関わっていくことができました。しかし、事業などを円滑に進めるためにさらに改善できる部分を見出し、２０１３年度の運営に反映し、部内改善を図っていききたいと思います。

編集部に関しては、毎月ろうあ兵庫に青年部のページを掲載し、青年部の取り組みなどを周知してきました。しかしながら、青年部ブログをほとんど更新できませんでした。

組織部に関しては、企画のたびにアンケートをとり、今後どのような企画が求められているかを研究調査してきました。一般会員からのアンケート結果から、兵聴協青年部の三大大行事を始め、各行事の位置づけを明確にする必要性が高まってきました。研究調査の継続と、調査結果を関係者で共有していくことが重要だと考えています。

事業部については、「第７回ふくろう・ふれ愛まつり」に県青年部として出店しました。前年度と同じく揚げたこ焼きをを作り、販売しました。お客さんには好評を得られました。

また、加古川市で開催された「第３９回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい」では、新成人の参加がなんと７名もあり、昼食時間を利用して行われた県青年部常任委員と新成人との懇親会では、お互いに深く親睦を深めることができました。

今年度は１６期最後の年となります。第４５回近畿ろうあ青年研究討論会が兵庫で行われます。引き続き青年部のパワーで、若い青年やＵ－３５の仲間たちとの繋がりを深め、次世代へつなげていけるよう皆で共に頑張っていきましょう！

① ３本柱の基本を作っていこう！

今年は兵庫県で近畿ろうあヤングフェスティバルが行われました。あわせて兵庫県ろうあ青年研究討論会・青年講座を元に、兵庫県に住むろうあ青年と共に仲間づくり・学習づくり・要求づくりをすることができました。また、県内のみでなく、近畿、全国の多くのろうあ青年たちと出会い、情報や意見を交換することができました。これからもより活動範囲を広め、行事などを充実させられるように取りくんでいきます。

② 各協会青年部との連絡体制の強化を図ろう！

2012年度は、参加呼びかけや企画運営などに関し、各ブロックの常任委員がパイプ役として積極的に動きました。しかし、それぞれ専門部で、連絡のやりとりや連携が不十分な部分がありました。2013年度は、県青年部全体として、この反省点を考慮しさらなる改善を図ります。

③三大大事を大きく盛り上げていこう！

2012年度の3大行事、

6月末に行われた「第33回兵庫県ろうあ青年研究討論会 in 加古川」では県下各地からろう青年、健聴者が集まりました。ワークショップという形で3つのグループにわかれ「青年部に入ったきっかけとは?」「青年部の必要性和役割とは?」について討論し、どんどん意見が出されていました。夜の交流会では新しい仲間ができたりと盛りあがりました。

9月に行われた「第32回近畿ろうあヤングフェスティバル in 豊岡」では、兵庫県の青年部みんなの力をあわせて準備してきました。当日はポイントラリー形式でグループに分かれて歌碑や温泉を楽しみながら交流していました。夜はバイキング形式でたくさん食べてたくさん語り合いました。2日目は城崎マリンワールド見学で魚やペンギンなどとふれあいました。1月に行われた青年講座では昨年9月から来日していたノルウェーの手話通訳士のヘニ・ロッドヴィット氏にお越しいただき、「ノルウェーの手話通訳にまつわるエトセトラ」をテーマにわかりやすくお話いただきました。また、ノルウェーの手話も教えてもらいました。最後の質問ではたくさんの質問があり、1つ1つ丁寧に教えていただきました。

④県、近畿、全国の行事に参加しよう！

前年度と比較して、参加人数が増えた行事と減少している行事があります。2013年度はさらに企画内容の工夫や呼びかけ方法などを検討していきます。

⑤ ひょうご聴障ネットに協力していこう！

2012年度と同様に、ふくろう・ふれ愛祭りに参加し、ネットの活動にも関わっていききました。この4月から「障害者自立支援法」から「障害者生活支援法」に変わりますが、中身は依然としてわたしたち聴覚障害者のことが抜きにされています。もっと聴覚障害者に対する理解、立場になった福祉事業や計画を取り入れるように、2013年も引き続き、ひょうご聴障ネット会員拡大、ひょうご聴障ネットが関わる企画に積極的に参加して知識を深めていきます。

⑥特別企画を設けて活動を拡大していこう！

2012年度特別企画「ろう子どもふれあい企画」を開催する予定でしたが、花粉・PM2.5・黄砂の影響により子どもたちの健康を考えた結果やむなく中止となりました。ま

た、昨年８月に聴覚障害者情報センター主催で行われた「聴覚障害児を持つパパ＆ママ交流会」ではろう学校卒業者・普通学校卒業者・インテグレーション経験者の立場として経験談を話したり、子どもたちとゲームをしたり協力しました。これからもろう子どもとふれあいを密にして行きたいと思います。

⑦近畿ろうあ連盟青年部ヤングフェスティバルを成功させよう！

昨年９月１～２日に兵庫県で開催された近畿ろうあヤングフェスティバルは実行委員会を立ち上げ、一丸となって進めてきました。おかげさまで６５名の参加があり、参加者からはとても楽しかったと言っていました。

⑧近畿ろうあ青年研究討実行委員会を立ち上げよう！

２０１３年１０月に兵庫で開催される第４５回近畿ろうあ青年研究討論会を立ち上げることができました。ろう青年およびU-35のちからで成功するよう頑張っていきたい。

⑨東日本大震災聴覚障害者救援本部に協力しよう！

全日本ろうあ連盟青年部の方針にもとづいて協力しました。

２．事業経過報告

日 程	事 業 名	開催地	参加人数
４月１日	２０１２年度近畿ろうあ連盟青年部代議員会	大 阪	３名
４月１５日	(公社) 兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神 戸	２６名
６月９日	第６０回全国ろうあ者大会【青年のつどい】	京 都	１２名
６月３０日～ ７月１日	第３３回兵庫県ろうあ青年研究討論会	加古川	５４名
７月２８日～ ２９日	第３１回全国ろうあ青年活動者会議	埼 玉	３名
８月１１日	特別企画（ろう子どもを持つ親との交流企画）	神 戸	８名
９月１日～２日	第２７回近畿ろうあヤング・フェスティバル	豊 岡	６５名
９月９日	第６２回近畿ろうあ者大会【青年のつどい】	和歌山	９名
１０月１３日～	第４４回近畿ろうあ青年研究討論会	滋 賀	９名

1 4 日			
1 0 月 2 9 日	第 6 回ふくろう・ふれ愛まつり	淡 路	9 名
1 1 月 2 3 日～ 2 5 日	第 4 6 回全国ろうあ青年研究討論会	北海道	1 0 名
1 2 月 2 日	近畿ろうあ青年部中間代議員会	尼 崎	5 名
1 月 1 3 日	第 3 9 回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いの集い	加古川	7 名 (新成人 7 名)
1 月 2 6 日	青年講座	姫 路	1 8 名
2 月 1 6 日～ 1 7 日	第 4 2 回全国委員会	大 阪	1 名

3. 編集部活動報告

1. 編集部内で話し合いができていなかったことがありました。
2. 毎月きちんと行事のPRを載せることができた。
3. 時事問題と感想文と行事を行った報告などを載せる事が出来ました。

4. 組織部活動報告

＜兵聴協青年部主催行事の過去 5 年間の参加者数＞

	2 0 0 8 年	2 0 0 9 年	2 0 1 0 年	2 0 1 1 年	2 0 1 2 年
兵青研	6 2 名(淡路)	8 1 名(伊丹)	5 9 名 (尼崎)	5 4 名 (宍粟)	5 4 名 (加古川)
ヤングレクリエーション	4 1 名 (稲美)	6 6 名 (相生)	4 8 名 (三木)	2 7 名 (三田)	—
青年講座	3 3 名 (豊岡)	3 6 名 (西脇)	4 1 名 (西宮)	2 1 名 (神戸)	1 8 名 (姫路)
ろう子供ふれあい企画	1 8 名 (神戸)	2 4 名 (神戸)	1 1 名 (神戸)	3 5 名 (三田)	—

今年度は、兵聴協青年部主催としての開催行事が 2 つだけだったが、アンケートを基に、来年度もさらに魅力的な行事にしていけるよう、組織部として努力したいと思う。

また、答えやすいようにアンケートを工夫してみたが、それでも回答の空欄が目立ったので、さらに工夫していきたいと思う。

5. 事業部活動報告

事業部では、オリジナルグッズの検討、上位団体からのグッズ販売協力などを中心に活動してきました。また、淡路ふくろうふれ愛まつりでは常任委員の協力を得て「あげたこ焼き」「フライドポテト」を調理販売しました。

新たなオリジナルグッズとして、常任委員&青年部部員の協力により色々なアイデアを集め検討しましたが、採算の面で見通しがたたなかったため、やむを得ず制作に至りませんでした。しかし、検討段階で出てきたアイデアはリスト化し、今後のグッズ制作に役立てたいと思います。

(2) 女性部

1. 総括報告

第35回定期総会

毎年開催される総会です。皆さんお忙しいと思いますが、年に2度皆さんの意見が反映される場です。出来るだけご出席をお願いします。また、6月には「社団法人」から「公益社団法人」に移行し、それに伴って役員任期が3年から2年に改正されました。名称も「代議員会」から「女性部会」になりました。

活動内容は今までとは変わりません。第42回近畿女性フォーラムが6年ぶりに兵庫県が当番になります。西宮市での開催が決まりました。大会が成功に終わりますよう皆さんのご協力をお願いします。

社会見学

貸切バスで和歌山方面に行きました。人形供養の淡嶋神社では、周りに置かれている人形の数の多さに圧倒されました。昼食の海鮮丼は新鮮でとても美味しかったです。和歌山電鉄貴志川線の可愛い電車に乗り、貴志川駅で下車。猫のたま駅長が出迎えてくれるということで皆が楽しみにしていましたが、運悪く不在、代わりに「にたま」が出迎えてくれましたが、残念ながら昼寝中でした。参加者の中に猫好きの方が沢山おられ、残念がっておられました。

第33回女性のつどい

毎年持ち回りでの開催です。当日は天気にも恵まれ快晴でした。交通の不便なところですが、稲美町社協のご厚意で送迎バスを出して頂くことができました。講演では、日韓手話通訳者の桑原絵美氏を講師に迎え、日本と韓国のろう女性の文化の違いや、ご自身が通訳者になられたきっかけ等々をお話頂きました。稲美町ろうあ協会の実行委員会の

皆様ご協力ありがとうございました。

女性セミナー（社会生活教室）

今回のテーマは「古典連鶴を学ぼう」でした。講師の方々は助手の方を含めて6名と大勢お越し頂きました。私達が普段折っている折り鶴を基本にし、1枚の紙で沢山の小さい鶴を連ねて折るのです。とても難しくて、参加者は四苦八苦でした。最後まで頑張って完成された方はホッとされていました。今まで知らなかった「折り鶴」の奥深さに感心しました。また、日本人の手先が器用なことにも納得しました。

デフ女子会（新年会）

食事はバイキング形式で、メニューもヘルシーな内容で体に良いと大変喜ばれました。食事をしながら、楽しく、和やかに会話も弾んで、良い交流が出来ました。気が早いですが、来年は何処にしようかと皆さんのご希望を聞きながら決めて行きたいと思います。多数の参加をお待ちしています。

2. 事業経過報告

年 月 日	内 容	参 加 数	会 場
24 年 4 月 8 日（日） 6 月 2 日（土） 9 月 8 日（土） 9 月 9 日（日） 11 月 25 日（日） 11 月 25 日（日） 25 年 1 月 6 日（日）	第 35 回代議員総会 社会見学（淡嶋神社（人形供養）& たま電車） 第 33 回兵庫県ろうあ女性のつどい 前夜交流会 第 33 回兵庫県ろうあ女性のつどい 社会生活教室「古典連鶴を学ぼう」 女性部会 新年会（デフ女子会）	34（うち委任 19）名 60 名 22 名 221 名 36 名 26 名（14 協会） 31 名	神戸市立勤労会館 和歌山県 神戸（アロアロ） 稲美文化会館（コスモホール） 神戸市立総合福祉センター 神戸市立総合福祉センター 里山ダイニング（神戸大丸）
平成 24 年度役員会・オルグ			
●役員会 24 年 4 月 8 日（土） 5 月 13 日（土） 7 月 1 日（日） 8 月 4 日（土） 9 月 15 日（月祝） 10 月 8 日（月祝） 11 月 3 日（土） 12 月 1 日（日） 25 年 1 月 6 日（日） 2 月 9 日（土） 3 月 2 日（土） 3 月 8 日（金）	第 1 回役員会 第 2 回役員会 第 3 回役員会 第 4 回役員会 第 5 回役員会 第 6 回役員会 第 7 回役員会 第 8 回役員会 第 9 回役員会 第 10 回役員会 第 11 回役員会 総会準備	10 名 8 名 7 名 10 名 10 名 10 名 8 名 7 名 9 名 9 名 8 名 7 名	三宮ダイエー内喫茶店 クリスタルタワー クリスタルタワー クリスタルタワー クリスタルタワー 西宮サイゼリヤ クリスタルタワー クリスタルタワー 元町上島喫茶店 クリスタルタワー クリスタルタワー クリスタルタワー
●オルグ 5 月 28 日（月） 10 月 8 日（月祝） 11 月 25 日（日）	第 1 回オルグ 第 2 回オルグ 第 3 回オルグ	3 名 10 名 9 名	西宮市総合福祉センター 西宮市総合福祉センター クリスタルタワー

近畿・全国ろうあ連盟女性部			
年 月 日	内 容	開 催 地	参加人数(名)
●近畿			
24年4月21日(土)	定期代議員総会	大阪府谷町福祉センター	22／ 6
6月 5日(日)	第1回本部委員会	大阪府谷町福祉センター	7／ 2
6月16日(土)	第2回本部委員会	大阪府谷町福祉センター	7／ 2
同 上	座長・助言者・通訳者・記録者の打合せ	大阪府谷町福祉センター	15／ 3
7月14日(土)	大学学習会	大阪市北区民センター	71／ 17
7月15日(日)	第42回近畿ろうあ女性フォーラム	大阪府谷町福祉センター	220／ 31
11月17日(土)	代議員会・報告会	大阪府谷町福祉センター	26／ 3
25年3月23日(土)	第3回本部委員会	大阪府谷町福祉センター	7／ 2
●全国			
24年10月26日～28日	第42回全国ろうあ女性集会	滋賀県米原公民館	613／ 276／ 24
25年 1月25日(金)	第37回全国委員会	岡山市立中央公民館	24／ 4／ 1
1月26日～27日	第39回幹部研修会	岡山県聴覚障害者センター	93／ 17／ 1

(3) 高齢部

1. 活動のまとめ

- ①2012年10月に芦屋の奥池で第8回兵庫県ろうあ高齢者GG大会が行われました。前回に次回も同じ会場でやってほしいと要望があり、同様に開催することになりました。62名の参加者は自然の森に囲まれた場所で、起伏に富んだコースのスリルを味わいながら楽しみ、交流を深めることができました。
- ②敬老会では今までは情報センターを利用してきたが、参加者が増えていくにつれて、部屋で動き辛くなりました。今回は神戸市総合福祉センターで行うに当たり、やりやすくなりました。57名の参加があり、80歳以上の方は18名もいました。いつまでもすこやかに元気で過ごしていただけるようにと、気持ちを込めたお祝いを贈呈し、楽しく一日を過ごしました。
- ③こうれい者講演会では、今まだ参加者は20名も満たなかったが、今回初めて別々だった高齢会とセットする形だ企画してみたところ、今村彩子さんの人気があって90名を超える事ができました。今村さんの人生話しと共に映像を使いながら楽しませて頂いたことが、よかったです。

この事から2つの企画のセットを今後も続けて行きたいと思います。

- ④恒例の旅行会は、和歌山の湯浅・白浜への旅行を企画しました。参加者は36名で各地を観光してまわったり、美味しいものを食べて帰りました。
- ⑤役員に任せるばかりでなく、皆さんも一緒にやりませんか。

2. 事業経過報告

<兵庫県>

平成24年4月 4日(月) 役員会	兵聴協事務所(8名)
10日(火) 役員会	兵聴協事務所(4名)
15日(日) 第22回高齢部代議員総会	神戸市勤労会館

第1回高齢部総会 (出席24名・委任20名)

5月16日(日)第1回役員会 情報センター(9名)

7月6日(金)社会見学 京都水族館(48名)

14日(土)第8回兵庫県高齢者GG大会実行委員会 【尼崎】(1名)

24日(火)第2回役員会 神戸総合福祉センター(7名)

9月10日(月)第3回役員会 神戸総合福祉センター(7名)

17日(月・祝)第26回兵庫県ろうあ敬老会
神戸総合福祉センター(75名)

17日(月・祝)第2回こうれい者講演会
「映像を通じて昔と今の違い&これからの夢」今村 彩子氏
神戸総合福祉センター(90名)

10月27日(土)第8回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会
【芦屋】(83名)

11月12日(月)第4回役員会 神戸総合福祉センター(7名)

12月3日(月)第5回臨時役員会 神戸総合福祉センター(12)

平成25年

2月5日(火)第6回役員会 神戸総合福祉センター(7名)

2月15日(金)16日(土)1泊2日の旅 【和歌山・白浜】(36名)

3月11日(月)第7回役員会 神戸総合福祉センター(8名)

4月13日(土)第2回高齢部総会 神戸総合福祉センター
(出席17名・委任22名)

<近畿>

平成24年 5月25日(水)近畿ろうあ高齢者代議員会議 【大阪】(3名)

7月25日(土)第33回近畿ろうあ高齢者研修会事前会議(大阪)

8月25日(土)～26日(日)第33回近畿ろうあ高齢者研修会&
第22回ゲートボール競技大会&第3回グラウンドゴルフ競技大会
【和歌山・高野山】(3名)

11月6日(火)近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議 【大阪】(3名)

<全国>

平成24年9月27日(木)～30日(日)第24回全国ろうあ高齢者大会&
第26回ゲートボール競技大会&第3回グラウンドゴルフ大会
【広島】(6名)《兵庫チーム優勝》

平成24年2月22日(金)～23日(土)第3回全国高齢部代表者研修会
【徳島市】(1名)

(4) スポーツ部

1. 総括報告

兵庫県聴覚障害者協会が社団法人から公益社団法人になって2年目を迎えました。公益社団法人として色々と不慣れや戸惑いはありますが、ひとつひとつ要領をつかんできたと思います。2012年度より兵庫県ろうあ者社会生活教室を取り入れ、「体幹トレーニング」講座を開催し大好評を得ました。デフスポーツクラブ・チームとのパイプライン強化を努め、近畿・全国の体育大会案内書を速やかに送り一括申込みの締め切り日を守ることができました。兵庫県相生市で開催された『第7回日本ろう者水泳選手権大会』のボランティアスタッフに、スポーツ部役員3名が協力しました。日本で初めて東京で開催された『世界ろう者卓球選手権大会（2012年4月29日～5月6日）』のカンパ活動を行ない、86,400円の寄付ができました。

1) 第31回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会・・・7月29日

【場所】西脇市都麻の郷交流グラウンド

【参加】5チーム（北播・姫路・阪神・三田&西宮・神戸&豊岡） 延べ70名

【結果】優勝：姫路 2位：三田&西宮 3位：神戸&豊岡

4位：北播 5位：阪神

前年と同じ7チームの参加申し込みがありましたが、チーム内の人数不足のため、チーム合併を行ない5チームとなり、前年と比べて30名ほど減りました。

2) スポーツふれあい2012・・・11月25日

【内容】しまなみ海道ダンデム自転車ツアー

【場所】広島県 尾道～生口島

【参加】7名

3) 兵庫県ろうあ者社会生活教室（スポーツ机上講座）・・・2013年2月2日

【内容】『体幹トレーニング』岩田秀治氏（障害者スポーツトレーナー）

【場所】あすてっぷKOBЕ 2階セミナー室1・2

【参加】延べ20名

4) 第39回近畿ろうあ者体育大会・・・5月12日～13日

【場所】滋賀県草津市

【参加】バレーボール・ボウリング・テニス・ゲートボール 参加39名

【結果】バレーボール女子（HYOGO）チームが優勝、バレーボール男子（播磨デフバレーボーイズ）チームが準優勝を果たしました。

5) 第46回全国ろうあ者体育大会・・・9月15日～18日

【場所】千葉県千葉市

【参加】陸上・バレーボール・テニス・ボウリング・バドミントン 参加39名

【結果】バレーボール女子（HYOGO）チームが優勝を果たしました。

6) 第12回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技近畿予選大会

・・・6月17日

【場所】兵庫県西宮市中央体育館

【参加】兵庫県男子・兵庫県女子・神戸市女子 参加36名

【結果】兵庫県女子チームが優勝し、ぎふ清流国体への出場権を獲得しました。

7) 第12回全国障害者スポーツ大会（ぎふ清流大会）・・・10月13日～15日

【場所】岐阜県山県市（やまがたし）

【結果】バレーボール兵庫県女子チームが初優勝を果たしました。

また、陸上競技でも中島孝さんが200メートル30秒47のタイムを出し、金メダルを獲得しました。

8) 第7回アジア太平洋ろう者競技大会・・・5月26日～6月3日

【場所】韓国ソウル市

【参加】兵庫県から選手5名・スタッフ1名（日本から総計196名）

【結果】サッカー男子とバレーボール女子が金メダルを獲得、テニス男女とも金メダル1個、銀メダル1個・銅メダル4個の計6個を獲得しました。

2012年度 事業経過報告

【兵庫県】

4月 8日（日） 第23回スポーツ部総会 （神戸）

7月 1日（日） 第31回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会監督主将会議（西脇）

7月29日（日） 第31回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会 （西脇）

11月25日（日） スポーツふれあい2012 （しまなみ海道）

2013年

2月 2日（土） 兵庫県ろうあ者社会生活教室・スポーツ机上講座 （神戸）

【近畿】

5月12日（土） 第39回近畿ろうあ者体育大会 （～13日滋賀）

6月17日（日） 第12回全国障害者スポーツ大会
聴覚障害者バレーボール競技近畿地区予選大会 （西宮）

2013年

3月24日（日） 2012年度近畿ろうあ連盟体育部全体委員会 （午前：大阪）
3月24日（日） 第40回近畿ろうあ者体育大会監督主将会議 （午後：大阪）

【全国】

9月14日（金） 第46回全国ろうあ者体育大会 （～16日千葉）
10月13日（土） 第12回全国障害者スポーツ大会 （～15日岐阜）
※全国ろうあ者冬季体育大会は、4年に1度開催（2013年度予定）

【世界・その他】

4月29日（日） 2012世界ろう者卓球選手権大会 （～5月6日東京）
5月26日（土） 第7回アジア太平洋ろう者スポーツ大会 （～6月2日韓国・ソウル）
10月8日（祝・月） 第9回世界デフゴルフ選手権大会 （～12日三重）
11月4日（日） 第7回日本ろう者水泳選手権大会 （兵庫県相生市）

2013年

2月8日（金） 第1回デフスノーボード世界選手権大会 （～17日ロシア・モスクワ）
3月9日（土） 第22回全国ろう者ボウリング選手権大会 （～10日奈良）

（5）全国手話検定試験事業

全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当協会が準備を進め、試験実施に協力しました。

5級・4級試験の実施

日 程 平成24年10月13日（土）
会 場 神戸市立総合福祉センター（兵庫会場）
受験者 5級76名、4級62名（合格者 5級68名、4級55名）

3級・2級試験の実施

日 程 平成24年10月14日（日）
会 場 兵庫県立聴覚障害者情報センター（兵庫会場）
受験者 3級65名、2級31名（合格者 3級51名、2級18名）

準1級・1級試験の実施

日 程 平成24年10月20日（日）
会 場 兵庫県立聴覚障害者情報センター（兵庫会場）
受験者 準1級21名、1級12名（合格者 準1級14名、1級6名）

(6) 第7回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：10月13日(土) 10:00～15:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール

参加者：延べ500人

内 容：○ステージ発表(和太鼓、チャンゴ、サイエンスショー、日本大道芸、講演など)

○展示コーナー(写真、イラスト、手作り手芸品、さをり織りなど)

○バザー出店(物品、特産物など) 防災グッズの展示

○飲食コーナー(おにぎり、うどん、ちぢみ焼きなど)

○囲碁・将棋コーナー、パソコン教室

(7) 三団体合同2DAY研修会

1. 三団体学習部活動報告

【担当委員】

(兵聴協) 志方・中野・水田・木戸・足立 (県サ連) 槇本・竹中

(兵通研) 勝岡・上野

【担当者会議】19:00～21:00 兵聴協事務所分室

第1回2012年 4月27日(金)

第2回2012年 5月16日(水)

第3回2012年 6月13日(水)

第4回2012年 7月7日(土)

第5回2012年 8月7日(火)

第6回2012年 9月12日(水)

第7回2012年 10月24日(水)

第8回2012年 12月7日(金)

第9回2013年 3月13日(水)

2. 第35回三団体2DAY研修会

1日目<全体学習会>

日 時：2012年9月29日(土) 13:00～16:00(受付12:30)

場 所：あすてっふKOBÉ

講 師：アドバイザー：甲斐 更紗 氏(兵庫県立聴覚障害者情報センター 相談員)

テーマ 『みんながくらしやすい地域をめざして パート3』

～法律が変わると私たちの暮らしもかわる～

◆みんなで考えよう、話し合ってみよう。私たちの暮らしにつながる法律◆

2日目＜分科会＞

日 時：2012年9月30日（日） 10：00～16：00 （受付9：30）

場 所：神戸市立総合福祉センター （湊川神社西門前）

【第一分科会】

『入門』～教えて！手話言語法～これから手話は？～

【第二分科会】

『手話講習会』～地域で手話通訳者を増やす方法は？～

【第三分科会】

『手話通訳制度』～地域の手話通訳制度を見直そう～

【第四分科会】

『聴覚障害者と医療』～聴覚障害者が安心できる医療とは～

【第五分科会】

『手話サークル』～ろう者が行きたくなる手話サークル！？

【第六分科会】

『聴覚障害者と災害』～各地域の聴覚障害者の災害対策の現状と課題～

一日目の『みんながくらしやすい地域をめざして パート3』では、相談支援活動を通して法律との関わりについて甲斐氏よりお話いただき、その後参加者から様々な質問のやりとりをした。この流れのなかで私たちはどのように制度改革の取り組みを進めていけばよいか再確認する機会となった

二日目は「分科会」であり、各分科会は前年度までのテーマを引き継ぎ、各分科会で積極的な討論を予定していたが、当日台風のため、やむを得ず二日目は中止とさせていただきました。

（8）第30回兵庫県ろうあ者大会

日 時 平成24年6月24日（日） 午後1時30分～午後5時00分

場 所 小野市民会館(大ホール) 小野市

内 容 ・オープニング（播州小野太鼓演技）

・第一部 大会式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)
議 事（会務報告、大会宣言、大会決議、特別決議など）

・第二部 記念講演

「韓国のろうあ運動」

講師 社団法人韓国聾啞人協會 會長

卞 勝 一 氏 （韓国在住）

・第三部 引き継ぎ式、福引（次回開催地への引継 小野市から神戸市へ）

参加人数 388名

(9) 第39回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時 平成25年1月13日(日) 午前10時～午後4時

場 所 加古川市総合福祉会館 2階大ホール

内 容 第一部 ・式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)
・成人祝いのつどい(新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈、
成人代表決意)
・巳年生まれお祝いのつどい(紹介、お祝い、記念品贈呈)

第二部 アトラクション

・踊ってまつり(踊りっこチーム「舞ええ華」)
・記念講演「私たちの出会い」 講師 伊藤 行夫氏
・福引き、フィナーレ(次回開催地への引継 加古川から丹波へ)

参加人数 369名

(10) 第31回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日 時 平成24年7月29日(日)

場 所 西脇市都麻の郷交流グラウンド

内 容 ソフトボール・交流 参加5チーム

結 果 優勝：姫路 2位：三田&西宮 3位：神戸&豊岡
4位：北播 5位：阪神

(11) 幹部養成研修会

日 時 平成25年3月20日(水・祝) 午前9時30分～12時

場 所 神戸市勤労会館

内 容

【第一部】

○労働・福祉：

就労環境や生活環境における様々な課題、事例について課題を取り上げ、
協会としてどのように対応すればよいか等

○ろう教育：

県内の聴覚特別支援学校の現状、人工内耳にめぐる現状と情報提供等

○手話：

2013年4月スタートとなる障害者総合支援法に伴い、市町村での「手話
奉仕員の養成」の必須事業化など、手話関連の制度がどう変わっていくか

○会員拡大および日聴紙、MIMIについて：

全国および兵庫県での会員増減の推移や課題、ろうあ運動の機関車でもある

日聴紙、MIMI の必要性などについて

○手話研修センター後援会について：

聴覚に障害がある人や手話通訳者、そして手話を学ぶ人たちの活動の拠点となり、全国の手話の取り組みを後押しする大きな力となるために後援会入会を

○デフリンピックについて：

デフリンピックの社会認知を広めるための啓発活動などを中心に

○ひょうご聴覚障害者介護支援センターについて：

(公社) 兵庫県聴覚障害者協会が運営する介護支援事業所の必要性について

【第二部】

○ろうあ運動の意義について：

公益法人に移行してから 1 年目。障害者を取りまく制度がどんどん変わっていく中で、私たちの活動の原点である、ろうあ運動の意義について

○意見交換会：

ろうあ運動の意義について参加者同士で意見交換

【管理部門】

(1) 理事会

第 1 回	平成 24 年	4 月 21 日 (土)	神戸市立総合福祉センター
第 2 回	平成 24 年	5 月 19 日 (土)	兵庫県立聴覚障害者情報センター
第 3 回	平成 24 年	6 月 23 日 (土)	コミュニティセンターおの
第 4 回	平成 24 年	9 月 1 日 (土)	神戸市立総合福祉センター
第 5 回	平成 24 年	10 月 31 日 (土)	神戸市立総合福祉センター
第 6 回	平成 24 年	12 月 15 日 (土)	兵庫県立のじぎく会館
第 7 回	平成 25 年	1 月 12 日 (土)	尼崎市小田地区会館
第 8 回	平成 25 年	2 月 26 日 (土)	神戸市立総合福祉センター
第 9 回	平成 25 年	3 月 30 日 (土)	神戸市立総合福祉センター

(2) 総会

【第 1 回総会】

平成 24 年 6 月 24 日 (日) 小野市民会館大ホール

出席 183 人 委任 462 人

[議事結果]		不承認	保留	承認
第 1 号議案	議長選出の件	0 名	0 名	178 名
第 2 号議案	平成 23 年度事業報告の件	0 名	0 名	183 名
第 3 号議案	平成 23 年度決算報告及び監査報告の件	0 名	0 名	183 名
第 4 号議案	理事・監事改選の件	0 名	0 名	183 名

(3) 事務局

・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

・公益社団法人移行に関する手続き等

これまでの社団法人（特例民法法人）から平成 24 年 4 月 1 日付けで公益社団法人に移行するにあたり、兵庫県文書課公益法人室との連絡・事務作業・法人の運営などを協議し、必要に応じて理事会等に提案を行いました。

【公益法人事務局会議】

メンバー：小林、嶋本、山本紋子、梅澤、吉岡、森

実施日 平成 24 年 4/18、5/18、6/15、8/27、10/22、12/4、平成 25 年 1/16、2/18

【関連団体・各種委員会等への協力および派遣】

(1) 聴覚障害者の医療を考える会

1. 聴覚障害者の医療を考える会―“いのち”を考える会―

開催経過一覧（2012年5月～2013年3月）

期 日	回	テ ー マ	講 師	参加 人数	会 場
5月24日	第140回	腎不全	江原 重幸 江原クリニック	23名	あすてっふKOB セミナー室3
7月26日	第141回	血液検査で わかるガン	松尾 玲子 岡川医院	21名	あすてっふKOB セミナー室3
9月22日	第142回	生活習慣病と 食生活	和久 普三 和久医院 院長	34名	出前いのちin 柏原 柏原生涯住民センター
11月22日	第143回	感染症	江原 重幸 江原クリニック	16名	あすてっふKOB セミナー室3
3月28日	第144回	認知症・ボ ケ・アルツハ イマー症の 違い	西松 央一 西松医院 院長	30名	あすてっふKOB セミナー室3

2. 活動を振り返って

- ①2012年度（平成24年度）は第140回～第144回まで、1月を除く年5回、定期的に開催することが出来た。開催は奇数月第4木曜日、と定例化している。1987年にスタートしてから、第144回まで継続出来た事については関係団体と参加者のご協力のおかげと感謝している。出前いのちについては今回で10回目となる。今年度は柏原にて開催。地元のろう協、サークル、兵通研地域班の方々には会場の交渉、準備等々全面的に協力を頂いた。そして交流の輪も広がった。
- ②聴覚障害者のニーズに合ったテーマを選択し開催。第141回「血液でわかるがん」では、難しい内容だったが、がんを防ぐための12か条に関心がよせられた。また、144回「認知症・ボケ・アルツハイマーの違い」は参加者が多く、関心の高さが現れていた。今後も聴覚障害者のニーズに合ったテーマや、最新情報をとりいれて学習していく必要性を実感している。
- ③保険医協会の支援により講師派遣を受ける道筋は出来ている。聴覚障害者と共に企画・学習の必要性の理解が広がってきていると思う。
- ④124回～143回までの報告をまとめ、報告集「いのち」第7集を発行。

3. 今後について

- ①26年間継続開催の実績を絶やさず、今後も実施していきたいと考えている。
- ②聴覚障害者が現実的に求めている医療情報を探りニーズに合ったテーマを選択していきたい。

③地元ろう協、サークル、兵通研地域班、と協働し“いのち”を考える会「出前いのち」年1回の開催を継続していきたい。

④“いのち”を考える会 は、3団体（兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県保険医協会・兵庫手話通訳問題研究会）で協力しながら継続されているが今後も、兵庫県聴覚障害者協会の企画・運営の積極的な関わりを期待し、共に活動をしていきたい。

（2）ろう教育フォーラム in 兵庫

日 時 平成25年2月16日（土）13:00～16:30

場 所 姫路市自治福祉会館 大会議室

参加者 100名

内 容 ・講演「人工内耳は今、・・・ ～日本聴力障害新聞取材ノートから～」

講師 豆塚 佐世氏 （日本聴力障害新聞編集部、記者）

・報告「人工内耳や“ろう教育”について、私が思うこと」

報告者 笹倉博巳氏 （（仮称）兵庫県聴覚障がい児を持つ親の会 設立発起人）

・参加型ディスカッション「みんなで一緒に考えよう！ろう教育のあり方について」

初めて、「人工内耳」について取り上げました。講演は日本聴力障害新聞編集部記者の視点からの話は興味深いものでした。偏る話ではなく、第三者の立場で人工内耳の装用にまつわる話、情報等は今後の活動等に活かしていくべきと感じました。また、報告での親の立場で真摯に訴えた思いは参加者に伝わる事が出来たと思います。様々な情報を正しく捉えて、聞こえない子どもの全てが希望を持てる教育環境を作るべきと感じました。

（3）2012年度 兵庫県ろうあ者労働フォーラム

開催日：2012年7月8日（日）

参加人数：聴覚障害者7名 健聴者13名 参加人数合計、20名

『就職活動の現状と課題』 13時～14時

講師：尾崎 郁子氏（兵庫労働局職業安定部職業対策部 地方障害者雇用担当官）

『ワークショップ』 14時～15時30分

民間企業の雇用者数報告、障害者雇用の進展の背景、障害者雇用のノウハウの蓄積等による障害者雇用への企業側の意識の変化、ハローワークと地域関係機関との連携による就職支援の推進、障害特性の応じた支援施策の充実等をお話させて頂きました。講演後、ワークショップを行い参加者より、就職活動の経験、意見交換をしました。手話協力員制度、職務内容を知らなかった人が以外と多かった。

（4）手話通訳制度化推進委員会

【定例委員会】

毎月第4金曜日 第303回～第314回 19:00～21:00 12月のみ第3金曜日

場所：神戸市立総合福祉センター

【構成委員】 計10名

兵聴協（嘉田・山本）神戸ろうあ協会（松坂→中野）

県サ連（尾形・樋口）兵通研（笹倉・星野・池上）

神戸市サ連（山田・寺鼻） 県立神戸聴覚特別支援学校（緒方）

【活動内容】

1 “なるほどザ制度化” 学習会開催

- ・第17回日時：平成24年9月22日 9:30～12:00・場所：神戸市勤労会館

テーマ：みんなが望む手話通訳派遣制度を考えよう。

参加者：35名 内ろう者 23名

- ・第18回日時：平成25年2月3日 13:30～16:30 場所：西宮市総合福祉センター

テーマ：地域の制度を考えよう（四條畷市役所設置通訳者と共に考えよう）

講師：大通研支部委員 高本純子氏

参加者：17名 内ろう者7名

2・兵庫県立聴覚特別支援学校訪問

- ・神戸：平成25年1月16日（水）対象：高等部1年～3年・通研専任班との合同

- ・姫路：平成25年2月6日（水） 対象：H24年度卒業高等部3年生

- ・パンフレット配布と制度化作成DVDを見てもらい制度の説明。

3・「姫路の手話通訳制度を考える会」立上げに際し、委員2名を派遣。

- ・「宍粟に設置通訳を」に際して、委員1名派遣。

4・県提示の市（町）手話通訳者派遣事業実施モデル要綱の見直し。

5・その他

- ・3団体2DAY研修会 分科会「制度」担当。当日警報発令のため中止。

- ・近畿手話通訳問題研究討論集会「制度」共同研究者 報告

- ・兵庫県手話通訳者認定試験（統一試験）実施報告

【総括】

今年度の活動目標を、①派遣事業実施モデル要綱の見直し・②設置事業モデル要綱の見直し③新法や福祉状況の学習・④地域の運動・学習の推進と定め進めてきた。

③設置事業の要綱に関しては、要約筆記事業も設置が兼ねるかなど課題もあり、設置事業のあり方を整理し引き続き取組んでいく。また ④地域の運動・学習の推進では、“なるほどザ制度化” 学習会後、独自で制度改善のための会を立ち上げた地域や、設置を目指す地域に委員を派遣するなど協力している。今後、実施される障害者総合支援法の意味疎通支援が地域の制度にどう関わってくるのか、福祉情勢の学習をしながら制度の充実を目指し活動していく。

(5) 兵庫県手話通訳頸肩腕障害対策委員会

【定例会議】毎月第2月曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター

1. 学習会

①委員会オリエンテーション 7月9日(月) 19:00～21:00

講演「けいわんとは」 講師：仲井正 氏

②ノルデックウオーキング 10月21日(日) 10:00～12:00

場所：ポートアイランド

講師：川瀬常美 氏

2. 講師派遣

①オルグ活動 9月13日(木) 神戸 うはら(手話サークル)

9月18日(火) 高砂 兵通研 東播地域班

11月22日(木) 西宮 あゆみの会(手話サークル)

3. 「けいわんニュース」毎月定期発行

①「stop・ザ・けいわん」パート2の普及

4. 2012年度 職場アンケートの実施

①実施期間 2012年10月10日～11月31日(2012年度)

②対象者 兵庫県聴覚障害者協会および各ろうあ協会・関係団体職員

③配布団体 18団体 (128名) 回収率 約60%

④2011年度アンケート結果報告(けいわんニュースにて順次掲載)

⑤2006年～2009年アンケートの集約結果をオリエンテーションにて報告

5. 兵庫県立聴覚障害者情報センター主催 けいわん検診への協力

①検診会場受付

・西宮会場 9月18日(火) 9時30分～12時 受診21名

・神戸会場 9月25日(火) 9時30分～16時 受診40名

11月27日(火) 9時30分～16時 受診39名

・高砂会場 10月11日(木) 13時30分～16時 受診33名

②受診者へのアンケート実施

【総括と課題】

オリエンテーションでは、けいわんについて関係団体と合同学習を行うことができた。今後もけいわんについて意識を共有し、学習を継続していくことが大切である。サークルオルグは昨年度と比較して積極的に行えたと思うが、今後さらにPRし、サークルのみならず関係各所に出向き、けいわんについて啓発していきたい。職場アンケートは各所の協力を得て実施しているが回収率は60%に留まっている。回答の中には「職場にヘッドフォンがない」「定時に帰りにくい」などの意見もあった。アンケート結果の活用方法についての議論また管理責任者への働きかけができていない現状がある。けいわん検診のアンケートでは「受診して安心できた」「スムーズに受診できた」など、検診が定着してきたことがう

かがえるが受診の重要性の周知に努めていきたい。課題としては、職場アンケートの集計作業、検証を円滑に進められるような体制の見直しと、けいわん予防のためのストレッチ・運動を含め、けいわん学習の継続が重要である。

【対策委員会メンバー】

(兵聴協) 村上佳史・仲井正・岩本吉正 (協力員) 岩林恵子・鈴木奈麻美
(兵通研) 丸山よい・中村千鶴子・切塚令子
(県サ連) 波戸雅幸・苗村裕美・波々伯部早百利

(6) 災害対策委員会

2012 年度災害救援対策委員会活動報告

【定例委員会】

毎月第2 月曜日19:30~21:00 於:神戸市立総合福祉センター

4/20、5/14、6/11、7/9、7/23、8/13、9/10、10/15、11/12、12/10、1/21、
2/5、3/11

【構成委員】 (兵聴協) 嘉田、志方 (県サ連) 早柏、吉村 (兵通研) 森、鞍富

【検討事項】

1. 災害救援対策委員会の活動内容について
2. 三団体合同2DAY 研修会『聴覚障害者と災害』の分科会の内容について
3. 『津波防災FAX テンプレート』について
4. 『ろうあ兵庫』掲載内容について

【活動内容】

1. 『聴覚障害者災害支援津波災害用FAX テンプレート』作成計画。
津波危険時に行政より発表される防災情報(津波警報、避難勧告など)を、
聴覚障害者へ分かりやすく伝えら得るFAX テンプレート(文章及びイラスト
より構成)を検討中。
2. 『避難所マップ』作りの推進
 - ・三団体合同2DAY 研修会、オルグなどで継続して呼びかける
 - ・第二次避難所(福祉避難所)設置を行政に働きかけることを勧める。
3. 「三団体合同2DAY 研修会」(9/30) 於:神戸市立総合福祉センター
分科会「聴覚障害と災害~聴覚障害者の災害対策について~」
悪天候のため中止。
4. 兵庫県合同防災訓練(10/28) 於:神戸市
 - ・兵庫県障害者支援課、兵庫県立聴覚障害者情報センター、とともに参加。
5. 啓発
「防災学習会」開催(2/17) 於:神戸市危機管理センター
 - ・展示見学/ビデオ鑑賞/防災ゲーム

- ミニ講演「災害から自分を守るための行動とは？」講師センター担当川島氏
- ・ろうあ兵庫に『災害救援対策委員会ニュース』を掲載
 - ・聴覚障害者文化祭（10/13）にて、防災に関する避難グッズ／書籍類展示。
 - ・聴障ネット学習会等で「ひょうご防災ネット」登録へのよびかけ。

【総括】

◆緊急時の情報保障・伝達方法等、支援体制の確立にむけた取り組みを引き続き行う。

（7）手話研究プロジェクト

会議日：7/30 記録作業日：11/10（神戸ブロック）

構成委員：今泉、末吉、井上、福島、村上、辻井、山本

アンケート回収は2箇所を除いて終了。次回は各ブロックで回収したアンケート回答をもとに確認しながら、手話表現の記録作業（収録）する段階に入った。今年度は神戸ブロックと阪神ブロックを収録作業する予定だったが、日程調整に行き詰まったしまったため神戸ブロックのみとなってしまった。次年度は2、3ブロック、手話表現の記録作業（収録）を行いたい。

（8）手話講義編集委員会

会議日：5/30、7/4、7/25、8/29

構成委員：（兵聴協）岩林、迫田、遠藤、井上、山本（認通）竹中、山下

4テーマ完成。2テーマ作成中。

「耳の仕組み」は耳鼻科医院の専門医にチェックしていただいているが、より分かりやすい内容にすることが課題である。次年度は全テーマ（8つ）完成に向けて進めたい。

（9）代表者の派遣

1. 聴覚障害者センター支援委員会

【定例会議】 第2水曜日 18時30分～21時（9月12月2月を除く9回開催）

於：県立聴覚障害者情報センター会議室

【取り組み報告】

- ・センター事業についての意見交換
- ・要望書作成（兵庫県障害者支援課に提出 24年10月1日）
- ・センター機能の拡充及びブランチについての意見交換
- ・情報センターの活用についての意見交換

【構成委員】

【兵聴協】本郷・守谷【県難聴】中嶋・藤田【盲ろう者友の会】今川

【神戸ろう協】薄井【神戸市難聴】田中【兵通研】池上・森口

【県サ連】星・上田【県要連】吉田・藤原【神戸市サ連】能宗
【要約筆記こうべ】高野 オブザーバー：嘉田(センター)

2. 聴覚障害者制度改革推進兵庫本部

会議日：4/10、5/23、6/26、7/24、9/18、11/19、1/18、3/5

構成委員：【兵聴協】岩林・嶋本 【兵通研】丸山、平松・内山

【県サ連】平塚・苗村 【県難聴協】中島

【市難聴協】田中 【盲ろう者友の会】今川【県要連】吉田

学習会：3月20日 「情報コミュニケーション法と私たちの目指すもの」

川島朋亮氏

(10) ひょうご聴障ネット

〈ひょうご聴障ネットの目的〉

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「兵庫高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立された。

1. 2012年度の活動

(主催事業・行事)

○総会・記念講演会（藤原精吾弁護士）・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード 5月13日(日)

○夏の学習会「聴覚障害者と差別禁止法」～安心して暮らせる未来を求めて～Part 2
8月19日(日)

○兵庫県聴覚障害者文化祭 10月13日(土)

○手話カフェ 毎月第3水曜日、神戸市灘区水道橋筋商店街「café P/S」にて営業。

○年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行

○各地域へのオルグ活動

○役員会 毎月第3木曜日

○事務局会議 毎月第2、4木曜日

○2013年ふくろうカレンダーの作成、販売。

(協力事業・行事)

○ふくろう・ふれ愛まつり 10月28日(日)

○「私たち抜きに私たちのことを決めないで！骨格提言を尊重した障害者総合福祉法の制定を！5.10兵庫集会」5月10日(木)

○全関西集会 2013年1月10日(木)

○第 20 回障害者の明日を語り合うつどい 7 月 22 日（日）

○災害と障害者のつどい 2013 年 2 月 2 日（土）

○神戸市福祉パス制度

●「花時計前集会」 2012 年 11 月 30 日（金）

●市役所包囲行動 2013 年 1 月 24 日（木）

〈支援金〉

支援先－兵庫盲ろう者友の会

（１１）手話通訳者の団体との連携

兵庫県手話サークル連絡会、兵庫手話通訳問題研究会と当協会との連携を密にするため、次のとおり連絡会議、研修会を開催。

１． 四団体トップ会議

手話関連団体及び社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取組等を中心に兵庫における聴覚障害者の社会参加を発展を目指していく。

メンバー：兵聴協、県サ連、兵通研、社福各団体の 3 役

場 所：兵聴協事務所分室

実施日：4/17、5/18、6/15、7/30、8/29、9/26、10/17、11/19、12/12、1/30、
2/20、3/22

２． 三団体合同会議

県サ連と兵通研と共に役員の顔合わせをしながら各団体の取り組みや委員会の取り組みなどの意見交換を行った。

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

実施日：平成 24 年 7 月 9 日（土）

（１２）各種大会、研修会への協力および派遣

１． 県内の各種身体障害者に関係する大会への協力

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会） 年 2 回（神戸）

２． 近畿及び全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第 60 回全国ろうあ者大会（京都）平成 24 年 6 月 7 日～10 日
- ・第 39 回近畿ろうあ者体育大会（滋賀）平成 24 年 5 月 12 日～13 日

【木戸めぐみ】

- ・第 64 回近畿ろうあ者大会（和歌山）平成 24 年 9 月 9 日
- ・第 45 回全国手話通訳問題研究集会（高知）平成 23 年 8 月 24～26 日

- ・第29回全国手話通訳問題研究討論集会（愛知）平成24年2月23日～24日
- ・第29回近畿手話通訳問題研究討論集会（滋賀）平成24年12月15日～16日
【嘉田眞典・岩林恵子・鈴木奈麻美（共同研究者）】
- ・第46回全国ろうあ者体育大会（千葉）平成24年9月14日～16日
- ・第24回ろう教育を考える全国討論集会（北海道）平成24年8月4日～5日
- ・第22回近畿ろう教育フォーラム（奈良）平成25年2月2日【木村昌範】
- ・第18回近畿けいわんフォーラム（奈良）平成24年11月3日【山本紋子】
- ・第23回近畿手話サークルフォーラム（和歌山）平成25年3月31日【山本紋子】
- ・近畿労働・福祉合同フォーラム（京都）平成24年11月25日
【橋詰一則、岩本吉正】
- ・第27回近畿ろうあ者将棋大会（京都）平成24年8月26日【嘉田眞典】
- ・2012年度近畿ろうあ連盟 幹部研修会（京都）平成25年1月26日～27日

3. 全日本ろうあ連盟、近畿ろうあ連盟の役員会などへの代表派遣

- ・第63回全日本ろうあ連盟評議員会
【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、志方龍、山本紋子、木村昌範、木戸めぐみ】
- ・全国聴覚障害者防災会議（神戸）平成25年3月16日～17日
【嘉田眞典、志方龍】
- ・第17回全国情報・コミュニケーション担当者会議（愛知）
平成25年2月22日～23日 【山本紋子】
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（京都）平成25年1月27日
【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、志方龍、山本紋子、木戸めぐみ】
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）平成25年4月29日
【本郷、小林、嶋本、嘉田】
- ・第17回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム（千葉）
平成25年1月18日～19日【岩本吉正】
- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（和歌山）平成25年1月26日
【本郷、山本紋子】
- ・2012年度近畿地区専従職員研修会（大阪）平成24年12月6日～7日
【小林泉、嶋本恭規、山本紋子】
- ・第1回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成24年5月12日
【山本紋子】
- ・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成24年7月21日
【山本紋子】
- ・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（奈良）平成24年11月3日
【山本紋子】

・第4回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（和歌山）

平成25年3月31日【山本紋子】

（12）聴覚障害者関連施設部会事務局会議及び全体集会

県内の聴覚障害者作業所関係者が集い、それぞれの作業所の現状や情報交換や意見交換を行いました。

2012年度は、作業所通所者同士の交流として「作業所ふれあいクリスマス2012」を開催し、職員、利用者、保護者ら86名の参加者がありました。

1. 事務局会議・全体会

日程	場所	参加作業所名
事務局会議		
24.10/2(火)	三ノ宮：デリカフェ	橋詰、岩本、城野
12/12(水)	県立聴覚障害者情報センター	橋詰、岩本、城野
全体会		
24.4/19(土)	神戸市立総合福祉センター	たじま、はりま、たつのこ、神戸、おのころ
25.1/24(木)	神戸市立総合福祉センター	たじま、はりま、たつのこ、神戸、おのころ

2. 作業所なかまふれあいクリスマス2012

日 程：平成24年12月12日（水）

場 所：県立聴覚障害者情報センター

参加作業所：たつのこ、神戸、おのころ、はりま

【参考資料】

(1) 兵庫のろう教育を語り合う会

定例会議 毎月第3水曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター
機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「兵通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容や報告、ろう教育 に関する情報などを掲載。

<総括>

近年、各聴覚特別支援学校に在籍する児童・生徒に人工内耳の装用が増加しています。平成24年度は、その現状に対し、人工内耳の装用に関わる様々な情報、知識などの収集、意見交換等を行ってきた一年間でした。定例会議を行うだけでなく、実際に人工内耳装用児をもつ親にお願いし、話を聞き、意見交換を行った事も有益でした。医師や言語聴覚士からだけでなく、教師や親、当事者たちから現状や課題を聞くことも大事と思います。今後も、あらゆる方向性を探りながら、全ての聞こえない子どもたちの教育環境がきちんと整えられる支援を真剣に考えていきたいと思う所存です。

<今後の方針>

1. 「第17回ろう教育学習会」(夏)、「第16回ろう教育フォーラム in 兵庫」(冬)への取り組み
2. 聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り
(相談、訪問、交流等)
3. 聴覚障害のある教員の増員及び情報保障
4. 県下聴覚特別支援学校や行政関係(県・市教育委員会)との連携

(2) 各協会手話対策部会議

開催日: 4/2、5/14、6/4、7/2、8/6、9/3、10/1、11/5、12/3、1/18、3/1

開催場所: 神戸市立総合福祉センター

(3) 国際手話講座【前期10回・後期10回】

【前期】

日 時: 2012年6月28日、7月12日、26日、8月9日、30日、9月13日、27日、10月11日、25日、11月8日

時 間: 19:00～21:00

会 場: 西宮市民交流センター

講 師: 郡美矢 氏

参加人数: 12名

【後期】

日 時：2012年12月6日、月13日、20日、2013年1月10日、24日、2月14日、28日、3月7日、14日、21日

時 間：19:00～21:00

会 場：尼崎市小田公民館

講 師：郡美矢 氏

参加人数：11名

(4) 2012年度組織部活動報告

2012年度の組織部活動においては、会員拡大・日聴紙・MIMI読者拡大の呼びかけ、行事日程調整委員会の開催、幹部研修会の開催、他団体チャリティイベント参加呼びかけ、手話研修センター後援会呼びかけを中心に行いました。また、兵聴協・県サ連・兵通研の三団体での合同学習会である、三団体2DAY研修会の準備・会場設営・講師打診なども実施しました。

その他、県内における組織強化、地域活動支援の一環として、地域協会へのオルグ活動・相談支援など地域のろうあ者支援に寄り添った活動も行っていました。

今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、地域の組織強化を重点的にふまえて継続的に活動してまいります。

理事会出欠明細

			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
			4月21日	5月19日	6月23日	9月1日	10月31日	12月15日	1月12日	2月26日	3月30日
1	理 事 長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出	出	出
2	副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出	出	出
3		守谷 嘉之	出	出	出	出	出	出	出	出	出
4	理 事	嶋本 恭規	出	出	出	出	出	出	出	出	出
5		嘉田 真典	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6		山本 健良	出	出	出	出	出	出	出	出	出
7		志方 龍	出	出	出	出	出	出	出	出	出
8		仲井 正	出	出	出	出	出	出	出	出	出
9		木村 昌範	出	出	出	出	出	出	出	出	出
10		橋詰 一則	出	出	出	出	出	出	出	出	欠
11		岩本 吉正	出	出	出	出	出	出	出	出	出
12		山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
13		古 隆喜	出	出	出	出	欠	出	出	出	出
14	監 事	村上 佳史	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
15		足立 達哉	出	出	出	欠	出	欠	出	出	出
16		水田 俊子				出	出	出	欠	出	出
17		中野 貞子	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
18		木戸 めぐみ	出	出	出	出	出	出	出	出	出
19		吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出	出	出
20	監 事	山田 繁和	出	出	出	出	出	出	出	出	出
21		井谷 亮	出	出	出	欠	欠	出	出	出	出